平成２８年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人　グレイスまいづる
特別養護老人ホーム　グレイスヴィルまいづる

社会福祉法人 グレイスまいづる理念

社会福祉法人グレイスまいづるは、

ご利用者・ご家族・地域住民など　このまちに暮らす人々と

「共に暮らし、共に考え、共に感動し、共に働く」を使命として

これを実現するために

特別養護老人ホームグレイスヴィルまいづるを創り、運営します。

このまちに暮らす人には、みんなそれぞれに役割があります。
このまちに「共に暮らす」自分や家族、友人、みんなのことは、
どこかの誰かに託すのではなく、
あなたや私、自らが知恵を出して「共に考え」なければ解決できません。
人は、お互いに認め合い、支え合い、
だから、「共に感動」することができます。
最期の日まで、誰もがその人らしい暮らしを実現できるように、
私たちも、自分の役割を果たせるように、みなさんと「共に働きます。」

平成２８年度を振り返って

「地域包括ケア」とは、重度な要介護状態になっても、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されることを言います。

厚生労働省では、諸外国に例を見ないスピードで高齢化が進む我が国において、特に団塊の世代が７５歳以上となる２０２５年（平成３７年）には、医療や介護の需要が急速に高まること、さらに、認知症高齢者の増加が見込まれるため、行政・医療・介護・地域が協力して、地域の中で様々な支援・サービスを提供できる体制（地域包括ケアシステム）の構築が急務であるとしています。

この地域包括ケアシステムの構築に向けて、平成２７年度には「特養入居は原則要介護３以上」、「要支援のサービスは新総合事業に移行」、「利用者負担の見直し」と介護保険制度創設来はじめての大きな制度改定がなされ、さらに同年度公布の改正社会福祉法が平成２９年度に全面施行となることから、平成２８年度は、これらへの対応に大変な労力を要した１年でした。

また、このような中で、平成２７年度末に人員配置を見直し、ショートステイ事業を空床利用型に変更したことで減収となり、赤字決算となってしまったことは非常に残念ですが、当初予想していたより良い業績であったことは、現場で入居者・ご利用者のサポートにあたってくれている職員が力を尽くしてくれたことにほかなりません。

平成２８年度は、運営と経営の両面で結果を出すことはできませんでしたが、平成３０年度の医療・介護報酬の同時改定を控えた中で、職員一人一人が政治や社会の動向、地域の状況に関心を持ち、現場では以前にも増してサービスの向上に努力し、事務方はその現場の支えとなれるよう業務改善に取り組みはじめました。

この事業報告書に、次年度に向けたグレイスの１年間の学びをご報告させていただきます。

平成　２９　年　６　月　１７　日

特別養護老人ホーム
グレイスヴィルまいづる
施設長　淡路　由紀子

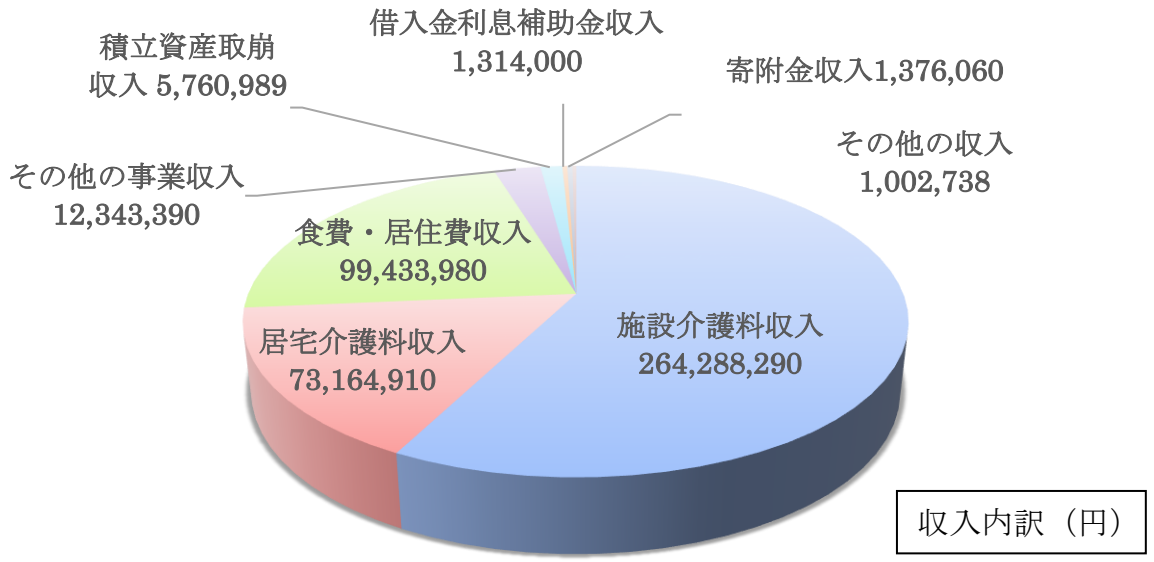
平成２８年度決算の概要		１
特別養護老人ホームの事業実績		４
特別養護老人ホーム　実績		５
特別養護老人ホーム　入居者の状況		６
特別養護老人ホーム　入居申込の状況		１４
ショートステイサービスの事業実績		１５
デイサービスの事業実績		１８
生きがいデイサービス事業「陽だまり倶楽部」の実績報告		２２
特別養護老人ホームの運営について		２３
「暮らしの継続」	１．排泄ケアについて	２４
	２．入浴ケアについて	２４
	３．食事ケアについて	２５
	４．医療的ケアについて	３０
「暮らしのひろがり」	１．面会、外出、外泊のサポート	３４
	２．クラブ活動について	３５
	３．ボランティア活動について	３６
	４．季節の行事について	３７
	５．地域交流について	３８
	６．子供たちとの交流について	３９
「終末期のケア」	１．看取りについて	４０
	２．終末期リハビリテーションについて	４２
事業の運営管理について		４３
	１．災害対策について	４４
	２．アクシデントについて	４５
	３．苦情対応と改善について	４６
	４．会議ミーティングの開催状況	４７
	５．関係機関との会議・調整の状況	４８
	６．施設設備管理の状況	５１
	７．事業用車両について	５２
労務管理と人材育成について		５３
労務管理について	１．職員の状況	５４
	２．職員の健康管理について	５６
	３．労働安全衛生について	５９
人材育成について		６０
地域貢献事業について		６９
法人運営について		７１

平成２８年度決算の概要

１．経営の状況

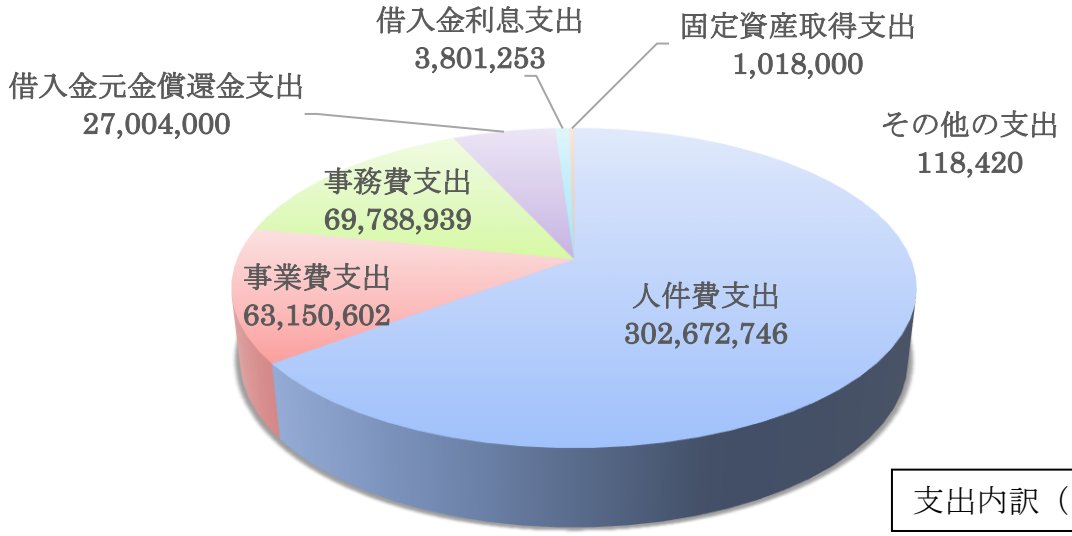
当期資金収支差額　▲8, 869, 603 円

収入額　458, 684, 357 円



収入内訳（円）

支出額　467, 553, 960 円



支出内訳（円）

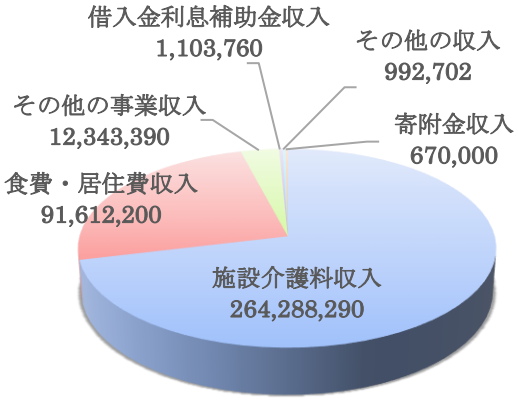
介護保険事業収入差異	（特　養）	（ショート）	特養＋ショート	デ　イ	計
２６年度	358,606,080	65,921,940	424,528,020	62,538,100	487,066,120
２７年度	356,653,000	63,964,048	420,617,048	65,330,910	485,947,958
２８年度	355,900,490	13,903,070	369,803,560	67,083,620	436,887,180
２７年度差異	▲752,510	▲50,060,978	▲50,813,488	1,752,710	▲49,060,778

介護保険事業収入比率	（特　養）	（ショート）	特養＋ショート	デ　イ	計
人件費比率	76.8%	0%	75.4%	43.7%	69.3%
事業費比率	14.9%	18.5%	15.0%	11.3%	14.4%
事務費比率	15.9%	18.7%	16.0%	15.4%	16.0%

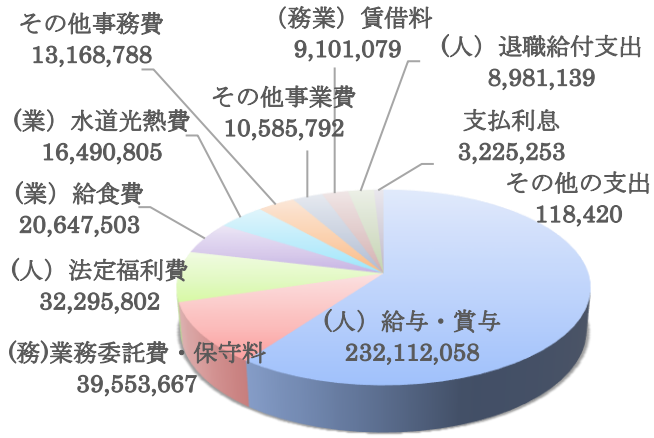
２．事業活動の状況

＜特　養＞　　事業活動資金収支差額　▲15,269,964 円

収入額　371,010,342 円

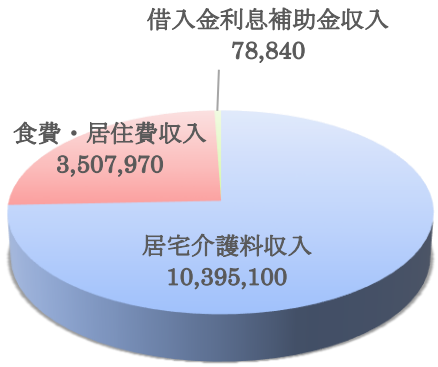


支出額 386,280,306 円

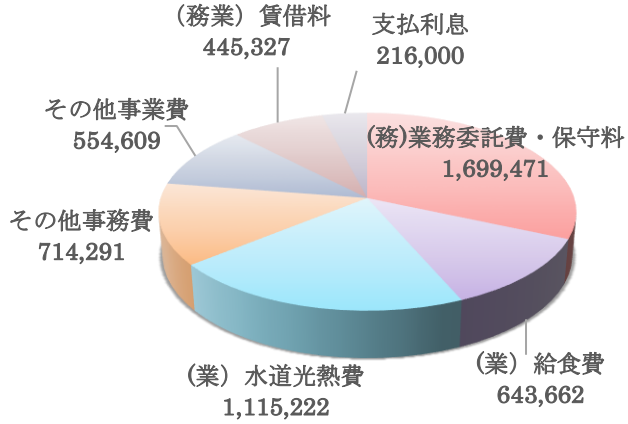


＜ショート＞　　事業活動資金収支差額　8,593,328 円

収入額　13,981,910 円

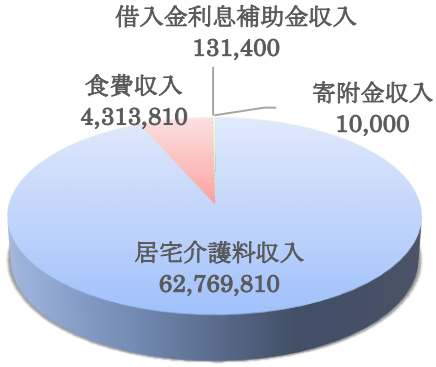


支出額　5,388,582 円

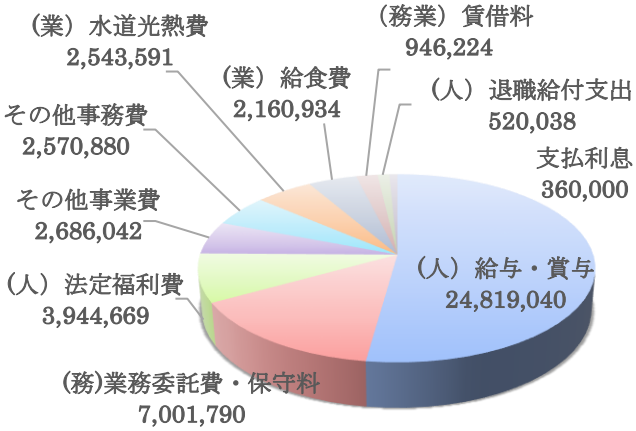


＜デ　イ＞　　事業活動資金収支差額　19,671,812 円

収入額　67,225,020 円



支出額　47,553,208 円



特別養護老人ホームの事業実績

特別養護老人ホーム　実績

＜稼働率＞

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
稼　働　率	94.7%	91.2%	95.9%	94.7%	92.0%	92.5%
営業日数（日）	366	365	365	365	366	365
入居定員（人）	29,280	29,200	29,200	29,200	29,280	29,200
のべ利用者数（人）	27,742	26,640	28,013	27,656	26,924	27,016
空室計（日）	1,538	2,560	1,187	1,544	2,356	2,184
1日あたりの入居者数	75.8	73.0	76.7	75.6	73.6	74.0
入院による空室（日）	1,033	1,356	420	730	1,010	837
入院による空室数　1日あたり	2.8	3.7	1.2	2.0	2.8	2.3
外泊による空室（日）	57	33	0	5	1	2
外泊による空室数　1日あたり	0.2	0.1	0.0	0.01	0.00	0.01
未契約による空室（日）	448	1171	767	809	1,345	1,345
未契約による空室数　1日あたり	1.2	3.2	2.1	2.2	3.7	3.7
空室計（日）	1,538	2,560	1,187	1,544	2,356	2,184
２４ｈの空室数合計　１日あたり	4.2	7.0	3.3	4.2	6.5	6.0

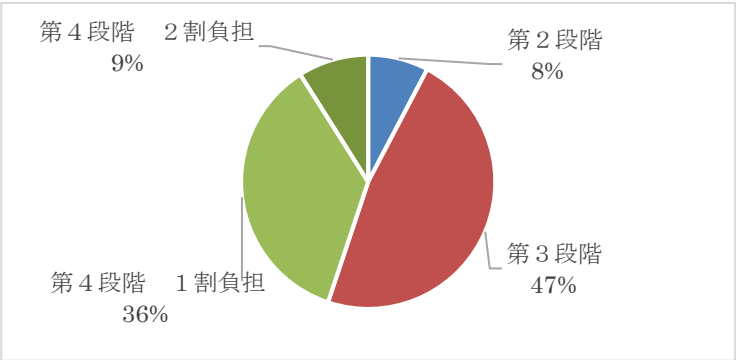
※外泊による空室は、出発・帰設日を除いて、外泊加算・居室料のみ請求
※未契約による空室は、いずれの報酬もなし
※入院による空室は、入・退院日を除いて居室料のみ請求

＜契約状況＞

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新規契約(入居)	18名	24名	20名	17名	23名	27名
うち再契約	0名	0名	0名	0名	0名	0名
契約終了(退居)	19名	23名	19名	22名	25名	22名
グレイスで死亡(看取り)	6名(3名)	9名(9名)	10名(8名)	11名(9名)	12名(12名)	17名(14名)
入院先で死亡	9名	9名	6名	8名	7名	2名
他施設における療養の継続	4名	4名	1名	3名	6名	2名
帰宅	0名	0名	0名	0名	0名	0名
急変後救急搬送先で死亡	0名	1名	2名	0名	1名	1名
退居者の平均契約期間	4年2ヶ月	3年0か月	3年4ヶ月	4年1ヶ月	4年4ヶ月	4年2ヶ月
最長契約期間	6年8ヶ月	7年7ヶ月	8年4ヶ月	9年9ヶ月	10年9ヶ月	11年
最短契約期間	8ヶ月	4ヶ月	11日	2ヶ月	1ヶ月	3ヶ月

＜費用負担の状況＞

第１段階	0	人
第２段階	6	人
第３段階	37	人
第４段階　１割負担	28	人
第４段階　２割負担	7	人
計	78	人

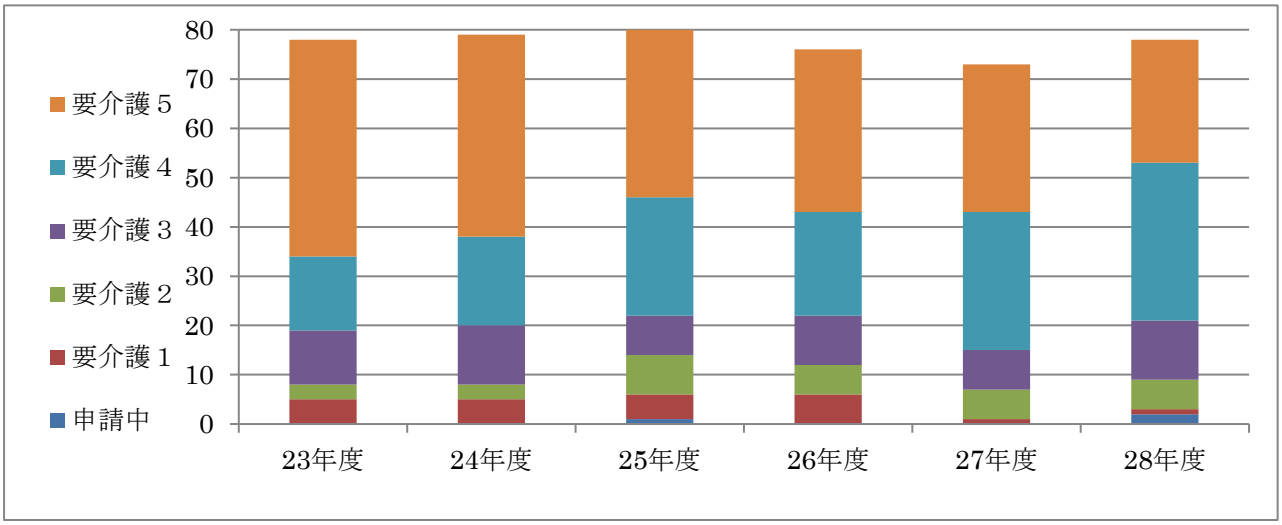


特別養護老人ホーム　入居者の状況

＜入居者の状況＞

	２３年度末	２４年度末	２５年度末	２６年度末	２７年度末	**28年度末**
入居者数	７８人	79人	80人	７６人	７3人	78人
平均要介護度	4.2	4.1	3.9	3.9	4.1	4.0
平均年齢	87歳	87歳	88歳	88歳	89歳	88歳
要介護１	5人	5人	5人	6人	1人	1人
要介護２	3人	3人	8人	6人	6人	6人
要介護３	11人	12人	8人	10人	8人	12人
要介護４	15人	18人	24人	21人	28人	32人
要介護５	44人	41人	34人	33人	30人	25人
申請中等	0人	0人	1人	0人	0人	2人

男女別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	**男性**	**女性**
利用者数	17人	61人	18人	61人	20人	60人	14人	62人	11人	62人	11人	67人
最高齢者	95歳	100歳	95歳	100歳	99歳	101歳	104歳	103歳	101歳	104歳	90歳	105歳
最年少者	67歳	77歳	68歳	68歳	69歳	69歳	70歳	66歳	71歳	67歳	76歳	61歳
平均年齢	83歳	89歳	83歳	88歳	84歳	89歳	86歳	89歳	83歳	90歳	84歳	89歳



障害高齢者の生活自立度と認知症高齢者の生活自立度

	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計	
自立						1			1	21
Ⅰ			1		2				3	
Ⅱa			1		1	1			3	
Ⅱb	1			5	1	5			14	
Ⅲa			1		4	9	3	1	22	57
Ⅲb					1	7		2	10	
Ⅳ				2	1	11	2	6	22	
M								3	3	
計	1	0	3	11	10	34	5	14	78	
	25					53				

＜要介護度の変化＞　　平成 28 年度　要介護認定調査の結果

調査前 / 調査後	要介護 5	要介護 4	要介護 3	要介護 2	要介護 1	合計
要介護５	１４	4				１８
要介護４	2	１３	3			１８
要介護３	1	5	2	1		9
要介護２				1		1
要介護１						0
合計	１７	２２	5	2	0	４６

重度化	８人
維　持	３０人
改　善	８人

＜年度別入居者数と介護度＞

平成	男	女	計	要介護５	要介護４	要介護３	要介護２	要介護１
17年度入居	1	2	3	1	1	1		
18年度入居	0	2	2	1	1			
19年度入居	0	0	0	0				
20年度入居	0	1	1	1				
21年度入居	0	1	1	1				
22年度入居	0	1	1	1				
23年度入居	2	2	4	4				
24年度入居	1	10	11	3	3	2	2	1
25年度入居	0	3	3	1	2			
26年度入居	1	10	11	2	3	3	3	
27年度入居	3	14	17	8	6	3		
28年度入居	3	21	24	4	16	4		

＜ユニット別　入居者の状況＞

		わすれなぐさ	なでしこ	あじさい	すずらん	りんどう	ひなげし	れんげ	たんぽぽ	すみれ	ひまわり	合計・平均
入居者数		8	8	8	8	8	7	8	8	7	8	78
	男性			2	1	1	1	2		1	3	11
	女性	8	8	6	7	7	6	6	8	6	5	67
平均年齢（歳）		91	92	83	88	86	90	90	92	89	86	88
	最年長	99	97	91	96	97	101	100	105	102	97	105
	最年少	83	87	73	83	61	83	80	72	79	68	61
平均要介護度		4.6	3.8	4.3	3.9	4.0	4.1	4.0	3.6	4.6	3.4	4.0
	要介護１							1				1
	要介護２		1			1			2		2	6
	要介護３		1	2	2	2	1	1			3	12
	要介護４	3	2	4	5	3	4	2	5	3	1	32
	要介護５	4	3	2	1	2	2	4	1	4	2	25
	申請中	1	1									2
入浴方法	ユニット　個　浴	2			3		3	3		1		12
	ユニット　リフト個浴	1	5	5		8	1		8	2	6	36
	ﾘﾌﾄ・ﾘｸﾗｲﾆﾝｸﾞ個浴		1					3				4
	臥位浴	5	2	3	5		3	2		4	2	26
	座位浴											0
食事形態	普通食	2		2	1	3	4	1	6	1	6	26
	ソフト食	4	6	3	4	4	1	6	1	4		33
	ミキサー・ムース食	1	2	3	3	1	2	1	1	2	1	16
	経管栄養（胃ろう）	1	(1)								1	2(1)
医療的ケア	喀痰吸引	1	1								1	3
	酸素吸入		1									1
	尿道留置カテーテル	2	1			1		1	1	1		7
	血糖測定				1	1						2
	インシュリン注射					1						1
看取り契約者数		1	1	1		1	1					5

※平成２７年度　リフト個浴に改修したユニット

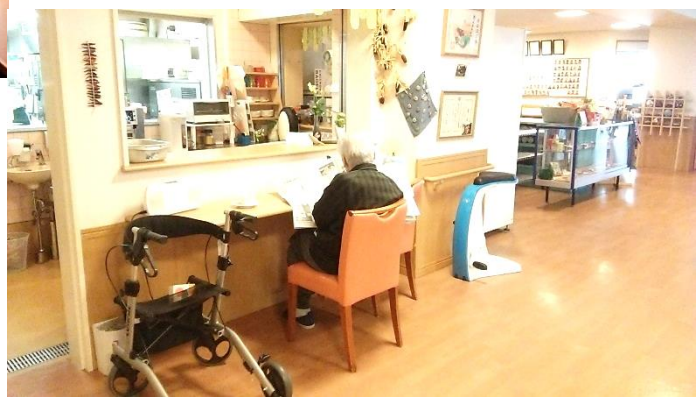
＜ユニットリーダーから＞

✿　わすれなぐさユニット　✿	
入居者ご家族の思いを受け止め、他職種と連携をとり、チームワークを大切にし、楽しく笑顔で過ごせるユニットを目指します。	入居者・ご家族の思いを受け止める様に、ご家族と対話して思いを引き出すように努めました。今後も引き続き対話を続けていけば、信頼関係は深まると思っています。入居者の住みやすい環境にする為に、ご家族と協力しています。 　他職種と連携して業務にあたりチームとして機能しつつあると思います。同じ方向を向けるように日々精進していきます。

✿　なでしこユニット　✿	
職員もやりがいのある充実した居心地の良いユニットを目指します	○職員のやりがいや充実したと感じることが出来たか ・「あんたにしか言えない事」と入居者に言ってもらい、頼られている事を実感できやりがいを感じた ・日々のサポートの中で入居者に「ありがとう」と言ってもらえる事にやりがいを感じた ・入居者の薬について、自分の気づきを意見として伝えた事により、薬を中止してみて、入居者が日中もしっかりと目が開き食事も摂ることが出来るようになったことにやりがいを感じた ・グレイスで働き７カ月が経ち、日本語が不慣れなこともあって、入居者に思うように返事や言葉がけが出来ない事もあり、家で泣いたこともあったが、介護という未経験の仕事を始め、車いすの使い方や、食事・排泄・入浴介助、ケアを学んでいく中で、自分の成長を感じやりがい感じる ・グレイスでの内部研修（法令遵守・看取り・感染予防・身体拘束、虐待防止）又、外部研修「ユニットフォーラム２０１７」に参加した事で、日々の暮らしを考え直すことや、新たな目標・計画を立てたいと意欲がわき充実していると感じる ○居心地の良いユニットを目指すことが出来たか ・「職員も入居者も面白くて居心地えぇで」 ・「遠慮せずに何でも話しやすい。私は何にも出来んから、手となり足となりみんながよくしてくれる。よそへは絶対にいきとない、居心地いいで」 ・「ここにおるで長生き出来とんや。入院したけどここへ帰って来てまた元気になれた」 等、入居者から話を聞かせていただくことで、自分たちがしてきたことやサポートに対して自信をもつ事が出来た。 　しかしこれで満足するのではなく、来年度はケアカンファレンス、２４時間シートの見直し、ユニットミーティング、研修参加など、さらに入居者一人ひとりの暮らしが豊かなものにとなる様にサポートし居心地の良いユニットとなるようにしていきたい。

✿　あじさいユニット　✿	
ユニット内の清潔を心がけ、くつろげる空間づくりをします	まず、ユニットミーティングで、入居者が、一日の暮らしの中で過ごされる時間が長いリビングを清潔にしていこうと再確認しました。おいしく食事をして頂くための雰囲気づくりは大切で、食欲が出ることで、活気ある生活がおくれ、意欲向上につながると職員間で共有しました。 リビングの清掃時間も、入居者が、部屋でゆっくりと過ごされる時間帯にとある程度決め、誰かがしてくれるのではなく、一人ひとりが責任を持ち、清潔にすることを心がけました。 年間を通して、ユニット内を清潔にすることが当たり前との認識になり、普段は見落としがちなところも清潔にしょうと気づくことができるようになりました。 　ただ、まだユニット内がくつろげる空間であるとは言えず、今後も職員間で、入居者の意向や家具の配置等についてを話し合いながら、暮らしやすい空間づくりに力を入れていきたい。

✿　すずらんユニット　✿	
自宅のように落ち着いて暮らせるユニットを目指します	退職したリーダーの後任で、年度途中からリーダーになったばかりで、月に一回ミーティングを開催することは出来なかったことは申し訳なかったが、開催した際には聞き取ったご家族の意向や入居者の思いを話し合うことが出来た。 　また、落ち着いて暮らして頂けるよう話し合った情報は多職種と共有し同じサポートが出来るよう努めた。



✿　りんどうユニット　✿	
自宅のように落ち着いてすごせる空間づくり	落ち着ける空間づくりとは言え、これまで暮らしてこられた経緯やなじみの空間が定着しており、簡単にユニット設えを変更できるような状況ではなかった。そこでまずはコミュニケーションの充実をはかり、信頼関係を築くところからスタートした。信頼関係ができていくなか、「これはこうで、こうしたい」と言った要望もよく聞かれるようになった。何か設えを１つ変える時は、入居者と相談、あるいは一緒にしていく事で、違和感や不快感をなくし、少しずつ設えを整え空間つくりをしていく事ができた。 この１年でも様々なことがあり、十分にできているとは言い難い現状ではある。本当に入居者一人ひとりにあった設え空間づくりができているとは言えない。今後入居者の方にどのようにして、理解を得つつ、一人ひとりが落ち着いて過ごし暮らして頂ける空間を作り上げていくかは引き続き課題である。 またユニット職員同士がしっかりコミュニケーションを図り、様々な意見を取り入れながらよりよい暮らしの場を提供していきたい。

✿　ひなげしユニット　✿	
入居者、ご家族と信頼関係を深め安心して過ごせるユニットを目指します。	面会に来られるご家族に積極的に話をする事によって、顔を覚えてもらい、ご家族思いを聞くことができた。しかし遠方に居られ、なかなか来られないご家族の思いを聞くことが難しくあまりできなかった。 入居者の状態に変化があった時は随時、ご家族に連絡をとり状況を伝えることができた。 入居者の事も徐々にわかってきて、最初は落ち着かれない方も落ち着いて過ごされるようになり、新しい入居者も自分の居場所を見つけられてゆっくりと過ごすことができている。

✿　れんげユニット　✿	
入居者、御家族、職員とたくさん話ができ、お互いを知ることで、信頼関係を深められる、ユニットを目指す。	６月には、ご家族を交えお茶会を開催し、５人のご家族の参加があった、職員と、ご家族間でのコミュニケーションを図ることが出来、信頼関係を築ける要素になったと思う。 新年会の開催も出来、日頃のご様子などをお話しさせて頂く機会となった。

✿　たんぽぽユニット　✿	
入居者の個性を受け止め、暮らしのリズムに合わせたユニットを目指します。	移動や排泄、食事や着替え、洗面など１日の生活を自分の思うように過ごされる方から生活全般に介助が必要な方まで、８名の入居者それぞれに異なる支援が必要なユニットです。 入居者、スタッフの入れ替わりもありましたが、24 時間シートをケアの根拠としてユニットスタッフが変わらぬ支援を行うことで、入居者の皆さんが穏やかに毎日を過ごせて笑顔を見せてくださることに繋がっていると感じます。これで満足することなく、24 時間シートのさらなる充実を図ります。 ユニットスタッフも介護福祉士の資格取得に取り組んだ１年でした。来年度もスタッフそれぞれが資格取得や研修参加などスキルアップを図り、ユニット全体の質の向上につながるように努めます。

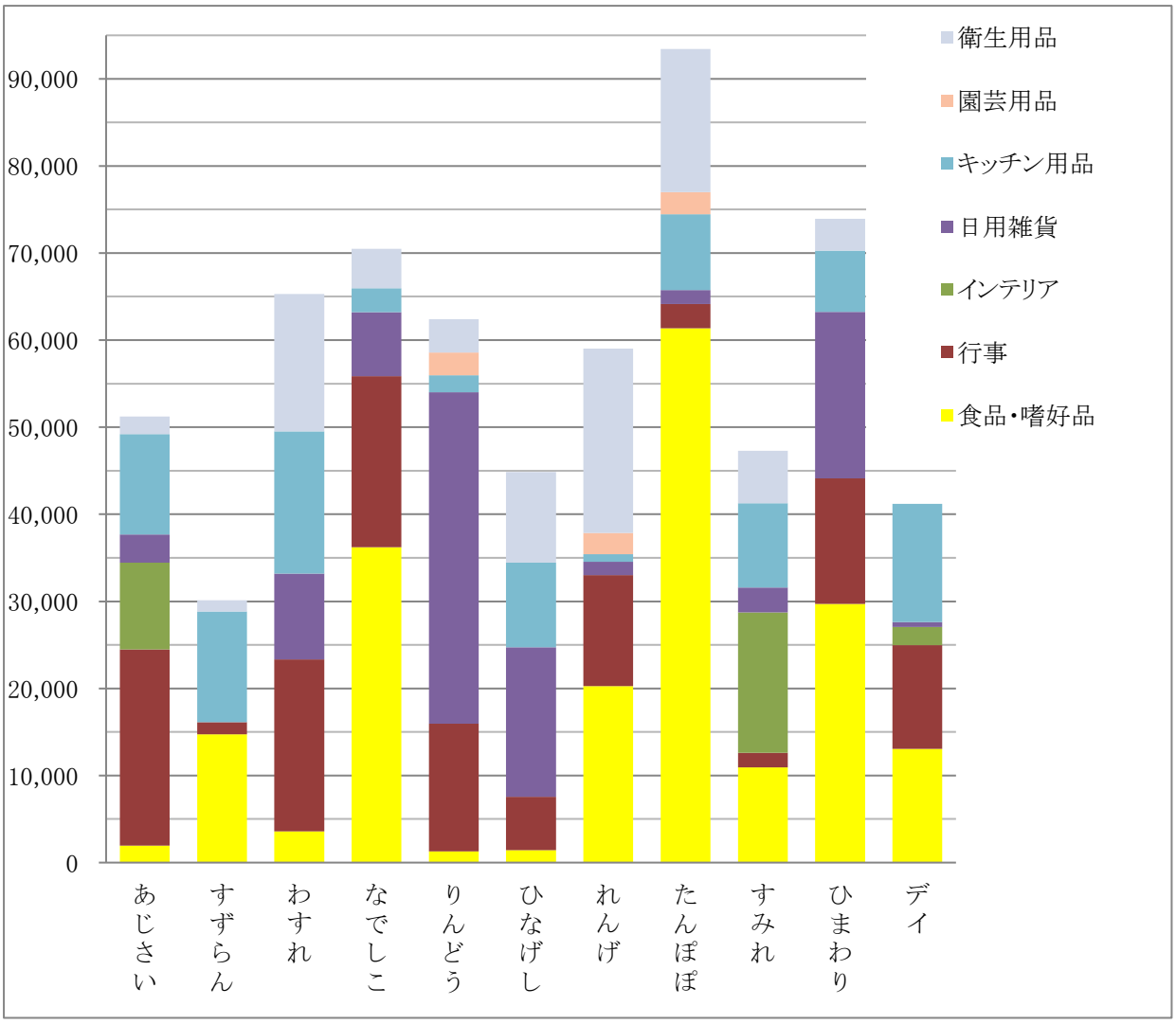
✿　すみれユニット　✿	
入居者、ご家族、職員間の信頼関係を築き、思いを伝えられ、もっとここにいて話したい、話さなくても傍にいたい、人と関わりたいと思えるユニットを目指します。	入居者とは話しをする時間をたくさん持ち、笑ったり身体に触れ、コミュニケーションを深める事で信頼関係を築くことが出来た。ご家族とは面会時に少しでも家族と傍にいたいなぁと思ってもらえるよう、部屋に運べるようなテーブル、椅子をユニットの廊下に配置し、居室でも食事などがしやすいようにするなど、ご家族の時間を大切にしてもらえるよう取り組めた。また、どの職員がいても、日頃の状態を伝えられるよう職員間では会話がしやすい雰囲気を心がけ、情報の共有を密にすることができた。

✿　ひまわりユニット　✿	
職員の感覚ではなく、根拠に基づいた個別ケアの実現が出来るユニットを目指します。	ミーティングで入居者の生活歴、思い、好きなことを考えて職員でケアの方法や、対応の仕方、言葉のかけ方等話し合い共有は出来たが、議事録に残したり ２４Ｈシートに記入したりと文字にすることが出来なかったので、スタッフに根拠を浸透させてケアをする事がなかなかできなかった。

～　ユニット費　～

平成 28 年度　ユニット費使途及び収支

	27 年度繰越	収　入	支　出	28 年度戻入
あじさい	29,234	60,000	51,233	38,001
すずらん	14,490	60,000	30,135	44,355
わすれなぐさ	21,397	60,000	65,300	16,097
なでしこ	23,881	60,000	70,501	13,380
りんどう	18,138	65,000	62,399	20,739
ひなげし	28,540	60,000	44,851	43,689
れんげ	39,277	60,000	51,674	47,603
たんぽぽ	44,079	60,000	93,424	10,655
すみれ	25,943	60,000	47,286	38,657
ひまわり	33,991	60,000	59,650	34,341
デイサービス	15,826	70,000	41,204	44,622
合計	294,796	675,000	617,657	352,139



特別養護老人ホーム　入居申込の状況

入居申込み状況

	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末
待機者数	212名	162名	185名	193名	106名	102名
対象者数						69名
申込者 （うち未調査）	68名 （58名）	67名 （53名）	79名 （36名）	77名 （26名）	49名 （21名）	62名 （25名）
月平均申込者数	5名	5名	7名	6名	4名	5名
申込者のうち 相談・説明の上で申込	55名	59名	55名	57名	45名	51名

未調査の介護度

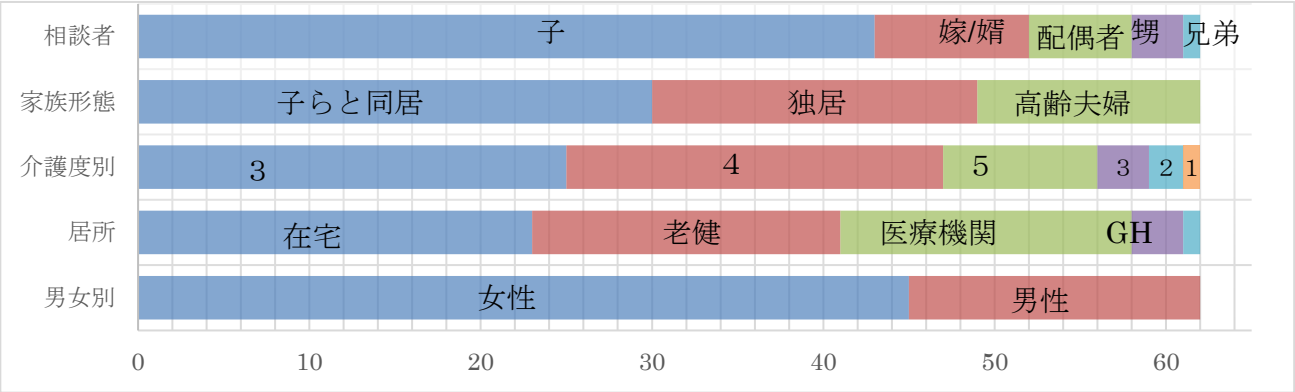
	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
市　内	3	2	8	7		20
市　外		2	1	1	1	5
合　計	3	4	9	8	1	25

待機者の内訳

	未確認 ※	要支援 認定切れ	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
市内	０	５	９	１３	２５	２４	１０	８６
市外	５	０	１	３	３	３	１	１６
合計	５	５	１０	１６	２８	２７	１１	１０２

府内：綾部市４名・宮津市３名・福知山市１名・与謝野郡１名・京都市３名
　　亀岡市１名・宇治市１名
府外：大飯郡１名・彦根市１名
※申し込み後、保険者に介護度の確認が未済の人

申込者の内訳



ショートステイサービスの事業実績

ショートステイサービス　実績

＜稼働率＞

	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	**28 年度**
稼　働　率	102.7%	104.3%	108.1%	100.4%	102.5%	**50.7%**
営業日数（日）	366	365	365	365	350	**365**
利用定員（人）	6,960	5,110	5,110	5,110	4,900	**2,184**
のべ利用者数	7,151	5,330	5,523	5,132	4,987	**1,107**
１日あたりの利用者数	19.5	14.6	15.1	14.1	14.2	**3.0**
１ヶ月あたりの実利用者	95.25 人	98.5 人	67.5 人	60.0 人	60.4 人	**16.5 人**

※平成２４年２月１日から入居定員減　２０名→１４名に　（かすみそうユニット６室休業中）
※平成２８年３月１６日から定員０とし、特養空床のみの利用となる。

＜契約状況＞　※利用契約をしており、年度中に１回以上利用された方

	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		**28年度**	
利用契約者 （うち介護予防）	163名 (5名)		118名 （５名）		99名 (5名)		112名 (9名)		108名 (6名)		**41名 (3名)**	
男女別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	**男**	**女**
（うち介護予防）	46 (2)	117 (3)	29 0	89 (5)	25 0	74 (5)	33 (1)	70 (8)	27 0	81 (6)	**11 0**	**30 (3)**

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	**28年度**
新規契約数	－	21人	24人	44人	41人	**7人**
契約終了数	－	26人	24人	24人	47人	**6人**
変更予防→介護	－	6人	0人	3人	7人	**2人**

＜地域別　契約の状況＞

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	**28年度**
西舞鶴	ー	76人	69人	89人	88人	**38人**
中舞鶴	ー	3人	3人	3人	3人	**1人**
東舞鶴	ー	35人	26人	19人	16人	**2人**
舞鶴市以外	ー	4人	1人	1人	1 人	**0人**

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	**28年度**
城南校区	ー	52人	54人	41人	40人	**28人**
旧　　町	ー	16人	23人	2人	2 人	**1人**
高野地区	ー	14人	7人	5人	4人	**2人**
中筋地区	ー	13人	16人	22人	20人	**10人**
池内地区	ー	9人	8人	13人	14人	**15人**
城北校区	ー	20人	15人	25人	27人	**10人**
(校区未確認分)	ー	(3人)	3人	2人	2人	**0人**

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	**28年度**
池内地区	―	9人	8 人	13人	14人	**15人**
今田	―	3人	3 人	3人	2人	**1人**
堀	―	2人	1 人	2人	2人	**2人**
池ノ内下	―	0人	0 人	2人	3人	**3人**
布敷	―	2人	1 人	1人	1人	**2人**
別所	―	0人	0 人	1人	2人	**3人**
上根	―	1人	2 人	1人	2人	**2人**
寺田	―	0人	0 人	3人	1人	**1人**
白滝	―	1人	1 人	0人	0人	**0人**
岸谷	―	0人	1 人	0人	1人	**1人**

＜利用者の状況＞

	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	**28年度末**
利用者数	83人	63人	63人	6 2 人	49人	**30人**
平均要介護度	3.1	3.1	3.1	2.8	2.7	**2.1**

男女別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	19人	64人	13人	50人	16人	45人	17人	45人	12人	37人	**8人**	**22人**

要支援１	1人	1人	1人	1人	2人	**0人**
要支援２	2人	2人	2人	5人	2人	**1人**
要介護１	10人	6人	6人	11人	10人	**5人**
要介護２	17人	18人	14人	18人	13人	**11人**
要介護３	20人	11人	13人	6人	9人	**7人**
要介護４	19人	15人	16人	12人	7人	**4人**
要介護５	14人	10人	9人	9人	6人	**2人**

契約者の障害高齢者の自立度と認知症高齢者の生活自立度

	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計
自立		1	1	2					4
Ⅰ		1		1		2			4
Ⅱa			1	2	1				4
Ⅱb		1	3	1	4	1			10
Ⅲa		1	3	4		3	1		12
Ⅲb					1			1	2
Ⅳ			1	3					4
M								1	1
計	0	4	9	13	6	6	1	2	41

空床利用になり、空室状況が変化するので調整が難しかった。
41 名中、3 名が特養入居、緊急ショート利用を 3 名受け入れることができた。

デイサービスの事業実績

デイサービス　実績

＜稼働率＞

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	**28年度**
稼　働　率	84.2%	82.0%	82.6%	79.7%	80.6%	81.1%
営業日数（日）	308	308	308	310	312	312
利用定員（人）	9,240	9,240	9,240	9,300	9,360	9,360
のべ利用者数	7,784	7,579	7,633	7,413	7,545	7,595
1日あたりの利用者数	25.3	24.6	24.8	23.9	24.18	24.34
実利用者数／１ヶ月あたり	101.1人	98.5人	94.6人	90.1人	90.2人	93.9人

＜契約状況＞　※利用契約をしており、年度中に１回以上利用された方

	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度		**28年度**	
利用契約者	117名		128名		116名		110名		128名		119名	
（うち介護予防）	（30名）		（27名）		（26名）		（22名）		（23名）		（20名）	
男女別	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	**男**	**女**
	37	80	39	89	35	81	33	77	36	91	36	**83**
（うち介護予防）	(9)	(21)	(7)	(20)	(3)	(23)	(2)	(20)	(4)	(20)	(3)	(17)

	２３年度	２４年度	２５年度	２６年度	２７年度	**２８年度**
新規契約数	―	21	20	21	31	**27**
契約終了数	―	35	24	19	13	**41**
変更予防→介護	―	7	4	3	2	**6**
変更介護→非該当	―	2	1	1	0	**1**

＜地域別　契約の状況＞

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
城南校区	―	98人	96人	66人	73人	91人
城北校区	―	22人	19人	20人	19人	28人
（校区未確認）	―	8人	0人	0人	0人	0人

城南校区	―	98人	96人	66人	73人	91人
旧　　町	―	9人	0人	1人	1人	1人
高野地区	―	11人	12人	8人	11人	13人
中筋地区	―	47人	50人	36人	32人	40人
池内地区	―	31人	34人	21人	29人	37人

池内地区	―	31人	34人	21人	29人	37人
今田	―	9人	9人	6人	6人	6人
堀	―	3人	2人	1人	1人	2人
池ノ内下	―	1人	2人	2人	6人	6人
布敷	―	4人	6人	3人	6人	5人
別所	―	7人	6人	5人	4人	5人
上根	―	6人	4人	3人	4人	8人
寺田	―	0人	4人	1人	1人	1人
白滝	―	1人	1人	0人	1人	2人
岸谷	―	0人	1人	0人	0人	2人

＜利用者の状況＞　要支援者は平均介護度に含まない

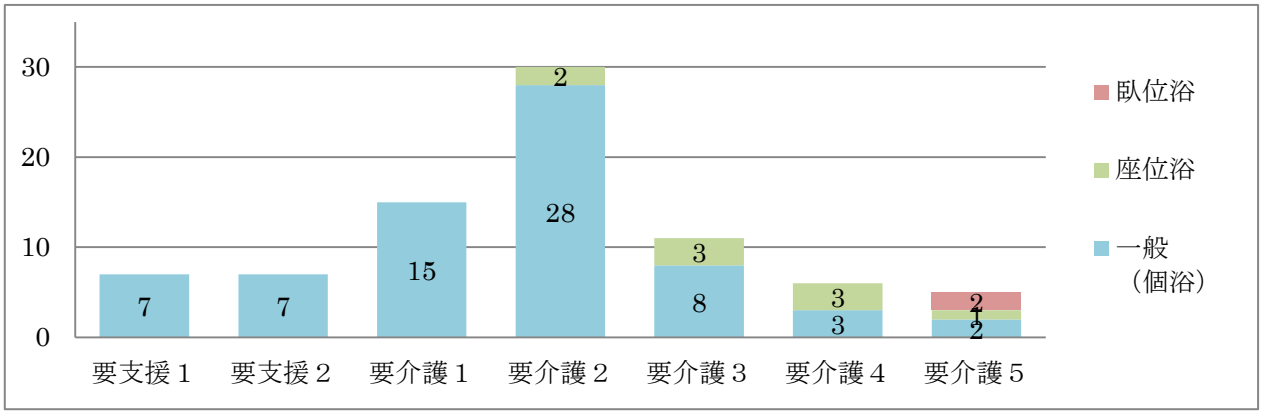
	23年度末	24年度末	25年度末	26年度末	27年度末	28年度末
利用者数	106人	92人	91人	86人	93人	89人
平均要介護度	2.5	2.4	2.5	2.4	2.1	2.3

男女別	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
	33人	73人	27人	65人	26人	65人	23人	71人	27人	66人	26人	63人
要支援１	15人		9人		11人		8人		9人		8人	
要支援２	12人		13人		13人		12人		10人		8人	
要介護１	20人		22人		15人		17人		23人		18人	
要介護２	22人		19人		23人		20人		26人		30人	
要介護３	22人		14人		15人		19人		15人		14人	
要介護４	5人		8人		9人		4人		6人		6人	
要介護５	10人		7人		5人		6人		4人		5人	

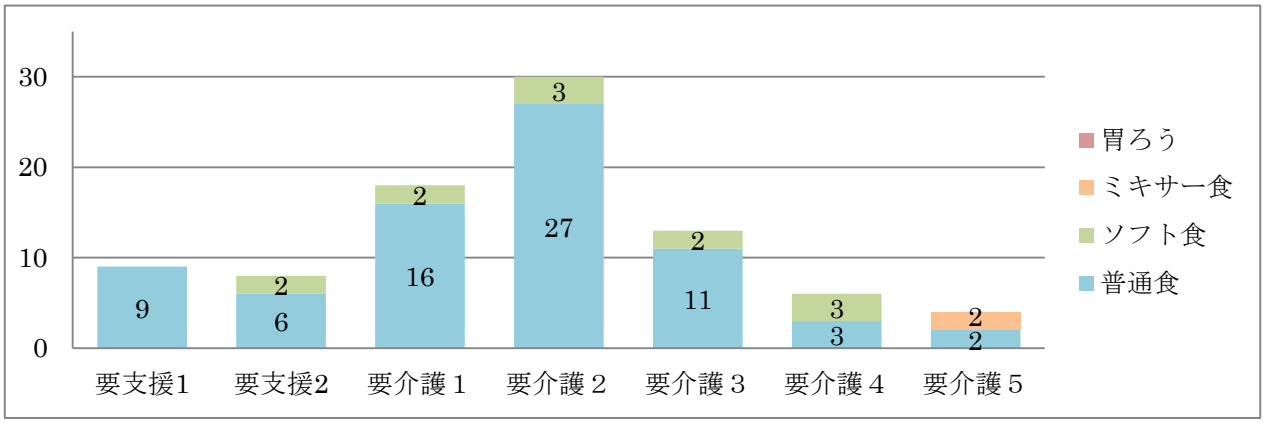
障害高齢者の日常生活自立度と認知症高齢者の生活自立度

	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2	計
自立	2		2	3		1	1		1	10
Ⅰ	1		8	3	8	1				21
Ⅱa		3	1		5	2	2			13
Ⅱb			8	5	3	5		1		22
Ⅲa			2	4	5		3			14
Ⅲb						1	2			3
Ⅳ				1	2	2				5
M					1					1
計	3	3	21	16	24	12	8	1	1	89

介護度別入浴方法



介護度別　食事形態



✿　デイサービス　✿	
介護予防通所介護を利用されているご利用者のニーズを整理する。	29 年度から要支援のご利用者はデイサービスの利用ができなくなるのではないかと、心配されている方もおられ「せっかく仲間ができて、楽しみに利用しているのに、来れなくなるんか？」と度々確認される声もあった。要支援から要介護 5 までのご利用者が一緒に過ごされる中で、もっと元気な方ばかりと過ごしたいという意見も聞かれるのではないかと思っていたが「このまま、ここに来たい」と言われ、通所型現行相当サービスへの移行の要望が多く、現利用者は継続される傾向にある。
ご利用者とご家族のニーズを分けて整理する。	特養入所の対象が要介護 3 以上になったことで、ショートステイの利用を増やされたり、老健施設の利用を開始されたり、在宅期間が半年を満たないご利用者、また、高齢化により入院が長期化するなど、冬場は特に稼働率が下がった。 ご家族の介護負担の軽減、休息時間の確保ができるよう、アンケートを実施した。受診・体調不良・私用などでの休みにされた利用者には、振替利用を勧めたことで利用は定着している。
レクリエーションのメニューを見直す。 	メニューの見直しは進まず、選択肢の少ないままの状況ではあるか、1 つ 1 つのレクリエーションへの取り組み方を工夫することは出来た。 現在継続しているメニューとして、手芸・工作・頭の体操・囲碁・カラオケ・テーブル卓球・元気に歩こう会がある。 手芸・工作は、少しずつ大きな作品作りができている。その作品が展示できるよう、大工作業が得意なご利用者に、額縁を作っていただき共同作品が完成している。デイルーム玄関や室内に展示し、他のご利用者に季節を感じてもらっている。 カラオケは、午前午後ともに活動しており、ご利用者がカラオケ機を操作して歌っておられる。1 人でも多くの方にマイクを持って声を出していただけるようにスタッフがサポートすることで、ささやくように歌っておられた方も大きな声で歌っておられる。 テーブル卓球では、ご利用者同士で「〇〇さん行くで」「もっとやさしく打って」「そこそこ」「こうして板を持つんやで」など言葉をかけ合いながら、3 名くらいの少人数の日もあれば 13 人と大人数の日もあり、ご利用日毎に自己選択にて参加されている。 毎月第２週の１週間は、買い物習慣として希望者を募り、バザールタウン、さとう、ゴダイ薬局、ジャパン、但馬屋等へ出かけている。自分の目で見て触れて選んで購入する楽しみと、おやつや飲み物を買って談笑することも楽しみのひとつになっている。

受託事業　平成27年度9月から

平成28年度舞鶴市いきがいデイサービス事業「いきがい倶楽部」「ぐれいす村の陽だまり倶楽部」実施報告

１．目　的

平成27年度の介護保険制度の改正により、平成29年度4月から要支援者に対する予防給付のうち通所介護・訪問介護が、舞鶴市の介護保険事業である地域支援事業へ移行する。

そこで、現在、舞鶴市が実施している軽度者向けの介護予防事業「陽だまり倶楽部」が地域支援事業に移行できるよう、期間を農閑期から通年に、対象者を池内地区から城南地区に拡充した事業を実施する。

２．対象者　城南地域に居住する６５歳以上の高齢者

【周知方法】城南民協の会議にて説明、ぐれいす村便りに同封

３．実施方法

【実施時期】平成２８年４月１３日（水）～平成２９年３月２２日（水）

【実施時間】午前１０時～１２時

【実 施 日】毎週水曜日（祝祭日を除く）　計４６回

【実施会場】２階　ユニット交流室

【実施形態】舞鶴市が社会福祉法人グレイスまいづるに業務委託して実施。

管　　理／　グレイスヴィルまいづる生活相談室

運　　営／　倶楽部専従としてパート職員１名

運営補助／　補助としてパート職員２名

【送　　迎】送迎代２００円／１人

【参加費】一人１回３００円。（レクレーション等材料費として）

【実施内容】健康チェック　運動（体力測定・ストレッチ体操）レクリエーション

４．実施結果

参加者　申し込み数３１名（うち昨年度より利用継続利用７名）

のべ４５２名　月平均１３名の利用があった。

５．事業評価と課題

28年度からの検討事項であった送迎を5月より実施することができ、中筋・高野小学校区の利用者が増えた。

陽だまり倶楽部と健康運動サークルを併用される利用者もある一方、要支援の判定がでることにより介護予防通所介護の利用に変更される方もあり定着しての利用は難しい現状にある。

６．事業費　事業活動収支差額　３３１，４１２円

＜収入＞

舞鶴市委託料	人件費	６９０，０００円	15,000円/回＊46回
	送迎費	２１５，０００円	5,000/回＊43回
参加者	参加費	１３５，６００円	300円＊延べ452人
	送迎費	３６，８００円	200円＊延べ184人
	合計	１，０７７，４００円	

＜支出＞

人件費	５６１，０００円	運営1名　補助2名　計3名分
送迎費	１４７，４５９円	ガソリン代　運転手人件費
材料費	３７，５２９円	レク材料実費
合計	７４５，９８８円	

特別養護老人ホームの運営について

１．排泄ケアについて

排泄は最も「他人に世話になりたくない行為」です。私たちは、毎日、しかも１日に数回ある排泄介助において、スタッフを信頼し身体を預けていただいている入居者の胸のうちまでもアセスメントできなければならないと思います。

そこで、28 年度は、排泄ケアマネジメントにおけるアセスメント力を向上できるよう、モニタリング表の様式を変更しました。

これまでのモニタリング表は、排泄介助のタイミングと尿量にあわせたオムツの選択に重点を置いたものとなっていましたが、ここに入居者の心身の状況、特に排泄介助のときに見せていただいている衣服の下、下半身の皮膚の状態も記録し、介助の際に配慮すべきこと、必要なサポートの充実に努めました。

モニタリング表の見直しと効果

・A3 用紙１枚に１日分のデータを記載していたが、A4 用紙１枚に５日分のデータを記載。
→モニタリング期間中の排泄の状況等を一目で把握できるようになった。
→A4 にしたことで、ユニットで用紙をプリントアウトできるようになり、用紙の取り扱い、保管のストレスを軽減。必要枚数も減り、コストダウンもはかれた。

・モニタリング中の尿量を確実に記録できるよう、記入欄を設定。
→尿量の記載漏れがなくなり、１日の排尿のタイミングと尿量の変化が可視化できたことにより、オムツの選択理由がより明確になった。

・心身の状況を記入できる欄を設け、特に皮膚の状況を記入することを申し合わせた。
→オムツ以外にも排泄に必要な物品の検討（撥水性スキンケアクリームの使用）、便通の改善にオリゴ糖の摂取の検討、自立している方の見守り、言葉のかけ方など、排泄ケアにおいて一人一人に配慮すべきことをより具体的に言語化するようになった。
→新人職員にとって、排泄のサポートの根拠、排泄ケアのアセスメントの学習ができるシートになった。

２．入浴ケアについて

入浴は、疲れを癒し、心も身体もさっぱりするための大切なひとときです。介助においては、同性介助の希望の有無の確認、お気に入りに入浴用品の準備、好み、季節、体調などにあわせた湯の温度調節など、心地よく入浴していただくために配慮を要します。こうした大切なことは２４Ｈシートに必ず記載することとして、介助させていただいています。

また、掃除用具がむき出し、浴槽やタイルが汚れている、入浴後に髪や身なりを整える鏡の周りの整頓などにも気を配らなければなりません。28 年度は、1、2 階にある共有の浴室の清掃のマニュアルを見直しました。

ユニットでの入浴について

27 年度に、２ユニットに１台リフト付個浴（パンジーi）を導入したユニットでの入浴は、浴槽をまたぐ、立位保持が難しい入居者に安楽に入浴していただけるようになり、職員の介助負担も軽減されました。

入居者に「このお風呂はよいな。」と喜んでいただいているのは、湯船に入るのが楽になったことのほかにもう一つ、入浴中に入居者と職員の会話が増えたからのように感じます。浴槽の改修で、これまで以上に入浴を楽しむ、楽しみにしていただけるようになったと思います。

ただ、28 年度末の入浴方法を見ると、リフト付浴槽のないユニットでは、自ユニットの個浴の利用率が高く、さらに、27 年度に同時に整備されたリフト・リクライニング機能付き個浴（ユニバス）を利用する入居者が少ないことがわかります。

さらに、リフトのない浴槽は、浴槽が深いにもかかわらず、すのこを利用しているのは、わすれなぐさユニットだけとなっています。

①リフトのないユニットのスタッフは、「お隣のお風呂」を借りる事への遠慮はないか。

②リフト付個浴のユニットスタッフは、お隣のユニットの入居者の状況も把握し、協力して2ユニットの入居者の入浴をサポートすることができているか。

③リフトのない浴槽について、すのこ、バスボード、滑り止めマット等の設置等必要なものが揃っているか。

④共同で使えるリフト・リクライニング浴槽（ユニバス）の利用について。

など、ユニットリーダーを中心に、入浴ケアの充実に向け、引き続き改善に努力したいと思います。

臥位浴室での入浴について

年度末現在、26名の入居者が臥位浴での入浴となっています。入居者のおよそ3割となっていることもあって、入居者の暮らしに合わせて入浴日や入浴時間帯を決めることができるよう、また、看取りの方には体調の良いときにいつでも入浴していただけるように、2階の臥位浴室も含めて調整をしています。

３．食事ケアについて

「栄養ケアマネジメント」

いつまでも食べたい物を味わっていただくことを目標に、多職種で連携してケアを行うことを重点に取り組んだ。栄養ケアマネジメントにおいて、経口維持（認知機能・摂食機能・咀嚼口腔機能・嚥下機能）の観点と、栄養状態（アルブミン値）、体格（体重変化）などをふまえて個別にアセスメントをすすめている。

入居時、長期入院後には、経口維持評価表に基づき、認知機能・摂食機能・咀嚼口腔機能・嚥下機能についての評価を行う。評価をもとに、ユニット・医務室・栄養管理室合同でカンファレンスを開催。１ヵ月毎に評価、サポートを検討し、経口維持計画の見直しを行った。

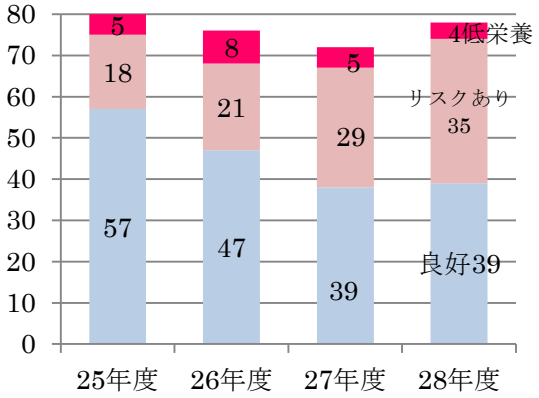
対象者となるのは、誤嚥性肺炎の既往や摂食・嚥下機能低下で栄養状態が不良、嘱託医の指示下で栄養管理が必要な方である。京都府の地域リハビリ支援センターにも依頼し、言語聴覚士や理学療法士、管理栄養士などの協力を得て支援を行った。食事量が確保できるようになり、体重の回復、栄養状態の改善、食事形態がミキサー食から形のあるものへのアップができた方など、取り組みの成果がみられる。２９年度以降も継続していく。

＜加算要件・算定基準＞
栄養ケアマネジメント加算を算定中であること。
食事摂取者で、摂食機能障害や誤嚥を有する入所者に対し、医師または歯科医師の指示に基づき、医師、歯科医師、管理栄養士、看護師、介護支援専門員その他の職種が共同して、食事の観察及び会議などを行い、入所者ごとに経口維持計画を作成し、医師又は歯科医師の指示に基づき管理栄養士などが栄養管理を行った場合。６ヶ月に限り　４００単位／月
経口維持計画策定日（月）から６ヵ月以内。６月超でも医師の指示があり誤嚥防止管理が必要な場合は継続算定可。

１）　入居者の栄養状態について

血清アルブミン値

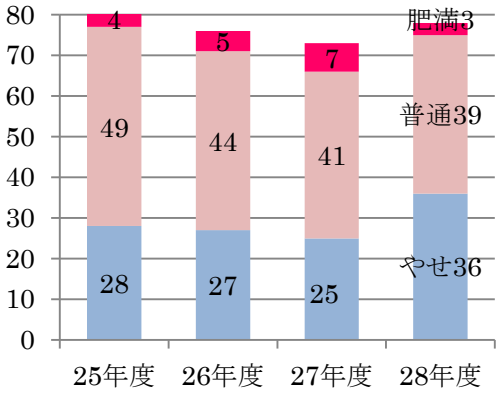
定期採血（１回/6ヵ月）により、血清アルブミン値の推移を確認している。アルブミン値が２．９以下の低栄養状態の方が４名。この中には看取り期で、経口摂取が難しい方も含まれる。アルブミン値からも重度化がみえる。



栄養状態／血清アルブミン値（ｇ/dl）	
３．６以上	良好
３．０～３．５	低栄養リスクあり
２．９以下	低栄養状態
計７８人	

特養入居者の体格　・・・　　ＢＭＩ肥満度＝体重（kg）÷身長（m）÷身長（m）

体格指数（BMI）については、一人ひとりの通常体格には個人差があるため、一定期間での体重変化を評価する指標として用いている。



体格／ＢＭＩ	
１８．５以下	やせ気味
１８．６～２５	普通
２５．１以上	肥満傾向
計７８人	

２）入居者の口腔の状況と咀嚼力、嚥下力について

食事を味わっていただくために、口腔の状態の把握と必要なケアが大切である。歯科受診・往診を依頼し、治療または入れ歯の不具合を調整していただいた。日頃の食事形態と口腔内の状態は関係が深く、２８年３月末現在の口腔の状況をまとめた。

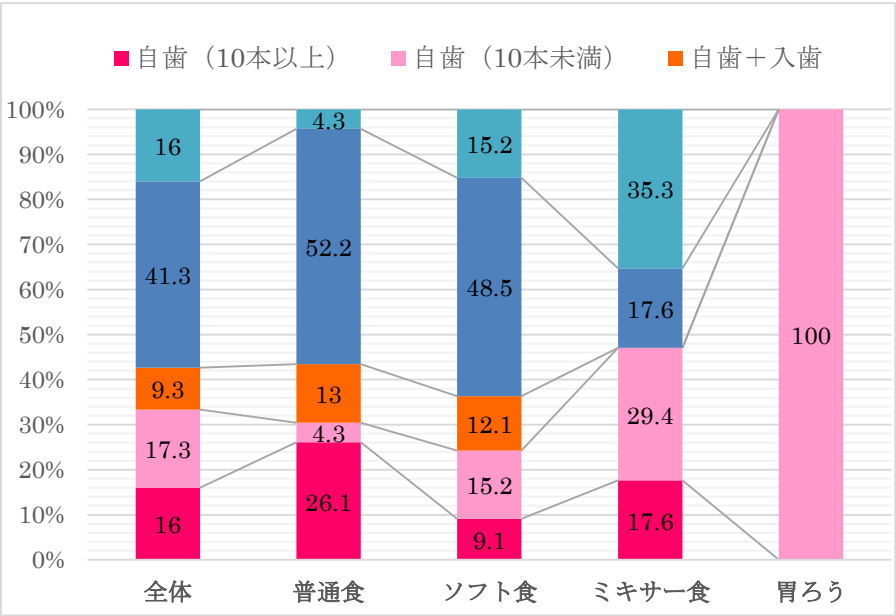
口腔ケアによって、更に気持ちよく、おいしく食事を味わっていただけたり、誤嚥性肺炎が予防できる、また、入れ歯を使用することによって、顔の見た目の印象も良くなるなど、細かな配慮によって、生活の意欲の向上につながることを再確認した。

口腔の状況と食事形態

合計75人		口腔の状態 ＼ 食形態と機能		普通食 23	嚥下力・咀嚼力が良好	ソフト食 33	咀嚼力が低下 自分の歯があっても少ない、もしくは入れ歯が合っていないため咀嚼力が低下	ミキサ食 17	咀嚼力・嚥下力が低下 ほとんどとろみ剤使用。顎を動かす、舌を動かす、飲み込む力が低下	胃瘻 2
自分の歯がある	32	自分の歯のみ	10本以上	6	自分の歯を大切にしていただくケアが必要	3	自分の歯を大切にしていただくケアが必要	3	全身状態をみながらソフト食へ移行できないか	0
			10本未満	1	歯は数本しかない。噛めているか注意	5	歯は数本しかない	5	歯は数本しかない	2
		自分の歯+入れ歯（部分入歯）		3	入れ歯ケアや口腔ケアが大切	4	付け外しや調整が難しい	0		
自分の歯がない	43	総入歯		12	入れ歯は合っていると考えられる	16	入れ歯が合っていない可能性がある	3	入れ歯を装着した方が良い	
		歯茎のみ		1	しっかり噛めているか。つまらないよう注意	5	噛みにくいものがあるかもしれない	6	噛めない。舌でつぶす	

（入院中の３人は除く）

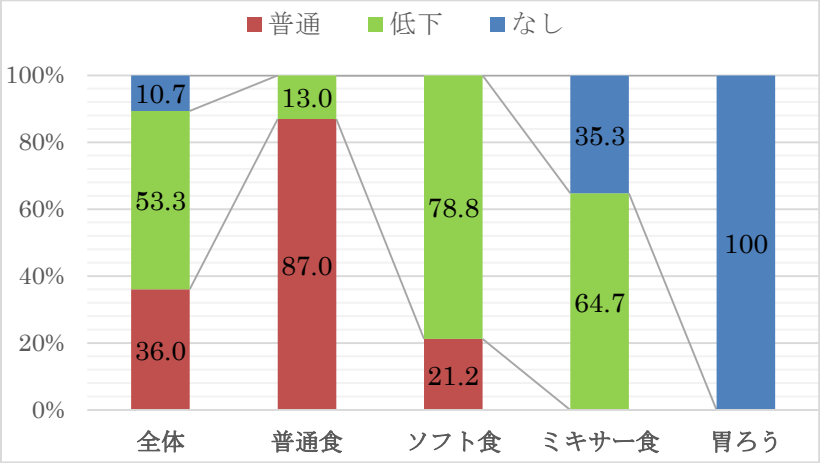
（人数割合で換算）



＜咀嚼力＞

食事形態別咀嚼力　（人）

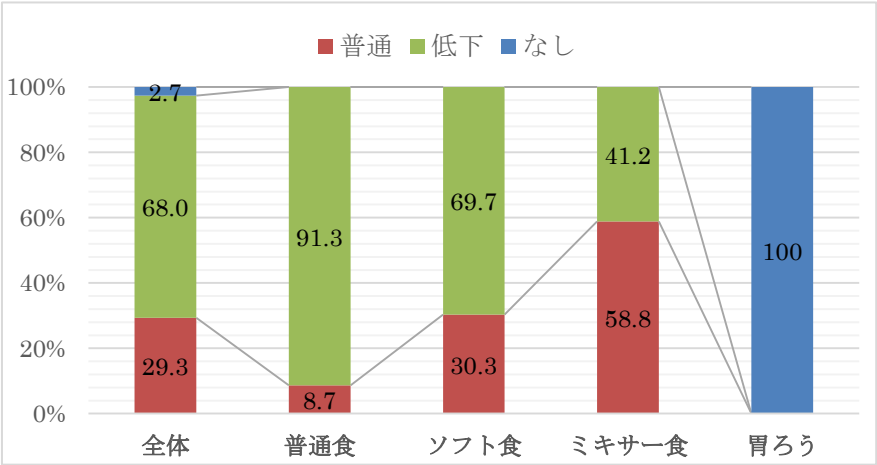
	計	普通食	ソフト食	ミキサー食	胃ろう
普通	27	20	7	0	
低下	40	3	26	11	
無し	8	0	0	6	2



＜嚥下力＞

食事形態別嚥下力　（人）

	計	普通食	ソフト食	ミキサー食	胃ろう
むせあり	22	2	10	10	
むせなし	51	21	23	7	
胃ろう	2				2



とろみ剤を使用している人は２１人。６割がミキサー食の方である。とろみ剤の使用については、「とろみの状態」「とろみの強さのイメージ」で共通認識できるよう、基準表を活用している。

「給食委員会」　　食事づくりの充実をはかる

給食委員会では、ご利用者の咀嚼状態・嚥下状態に配慮した食事形態について個別の情報を共有し、厨房スタッフと共に調理の工夫・改善に取り組んだ。栄養ケアマネジメントについて、必要な調理について検討を重ねた。

「地域のニーズにも対応する厨房運営を考える」

今年度、ご利用者以外の食事提供としては、陽だまり倶楽部の参加者、地域のボランティア、ご家族、ユニットリーダー実習生など 456 食の提供を行った。献立や素材紹介も継続して行った。

また、厨房の調理能力を最大限発揮できるよう、スタッフのスキルアップを目指し、調理師免許取得のためのテーマで勉強会を行ったが、3 回にとどまった。調理機器については、機器メーカーの研修会に参加し、情報収集。デモ機を借りて実際に体験し、今後の導入にむけて取り組んだ。業務用のミキサーについては早急に導入したい。

8/31～9/28

グレイスのお昼ごはん　予定表

8月31日	ごはん とろあじの塩焼 小松菜のピーナッツ和え なすの味噌汁	米 とろあじ、大葉、甘酢生姜 小松菜、人参 なす、麩
	エネルギー：501kcal	8品目
9月7日	木の葉丼 白菜のごま和え 南瓜の味噌汁	米、玉ねぎ、油揚げ、かまぼこ しいたけ、卵、三つ葉 白菜、人参、ごま 南瓜、青ネギ
	エネルギー：612kcal	12品目
9月14日	ごはん 五目豆腐 焼き餃子 なます	米 豆腐、えびのすり身、貝柱、白菜 しいたけ、玉ねぎ、人参、グリーンピース 大根、カニかまぼこ
	エネルギー：647kcal	11品目
9月21日	ごはん 豚肉と大根の甘辛煮 ほうれん草のからし和え なすの味噌汁	米 豚肉、大根、人参、いんげん おろし生姜 ほうれん草、人参 なす、青ネギ
	エネルギー：735kcal	10品目
9月28日	ごはん カレイの磯辺焼き 南瓜の煮物 小松菜の味噌汁	米 カレイ、人参、青のり 南瓜 小松菜、麩
	エネルギー：515kcal	7品目

1食 600円

お米は池内産のものを使用しています。
ぐれいすファームで収穫した野菜も、料理に使用しています。
今月は、大葉を使用する予定です！

４．医療的ケアについて

１）喀痰吸引および胃ろうの手当てについて

特養入居者の重度化により医療的ケアを必要とする方は増えているが、常時喀痰吸引や胃ろうの手当を必要とする入居者は少ない。平成２８年度末、常時喀痰吸引を必要とする入居者は２名、今年度新しく胃ろうを造られた入居者は１名で３名となったが、そのうち１名は口から食事ができており胃ろうからの注入はほとんど行っていない。

喀痰吸引は入居者にとって身体的にも精神的にも苦痛の大きいケアであるため、できるだけ吸引せずに痰を自力喀出できるよう手助けする技術の習得に向け取り組んでいる。

～　看介協働委員会（看介協働プロジェクト）～

医療的ケアのニーズに対応できるよう、今年度も鼻腔内の吸引および胃ろうの接続、開始ができる認定特定行為業務従事者の認定を受けるため、「介護職員等（不特定多数の者対象）喀痰吸引等研修（１号・２号)」を介護福祉士２名が受講し、実地研修に向け施設内で計画調整を進めている。

現在、グレイスには３５名の認定特定行為業務従事者がいるが、認定を受けていない介護職員もいざとの時に準備や対応ができるよう吸引や胃ろうによる経管栄養についての注意事項の整理と実技演習、介護職が行ってもよい医療的ケアにはどんなものがあるか内部研修会を実施した。

平成２８度の看介協働委員会の活動

平成２８月８月２３日 平成２８年８月２５日 平成２８年８月２９日	内部研修を開催 『医療的ケア研修』 講師　医務室　仲井室長 対象　介護職員、看護職員、他全職員 介護職員が行ってもよい医療的ケアについて 吸引・胃ろうから経管栄養について（留意点と実技演習）
平成２８年　９月　２日 ～平成２８年１１月２５日	福知山民間社会福祉施設連絡協議会主催 「介護職員等喀痰吸引等（不特定多数の者対象１号２号研修」 倉内実津枝サブチーフ、岩田浩巳受講 基礎研修、筆記試験合格、演習、プロセス評価を修了

プロジェクトチーム／嘱託医師（荒木先生)、施設長、室長、マネジャー

2）通院について

＜定期受診の状況＞ （実人数）

	合計	内科	皮膚科	神経内科	泌尿器科	眼科	脳外科	心臓外科	整形外科	精神科	理学療法	婦人科	歯科・口腔外科	耳鼻咽喉科
舞鶴赤十字病院	11	4			1	1			2		2			1
舞鶴共済病院	4	3			1									
舞鶴医療センター	5	1		1	1		1			1				
その他	3				1					2				
合　計	23	8		1	4	1	1		2	3	2			1

＜随時受診の状況＞ （実人数）

	合計	内科	皮膚科	神経内科	泌尿器科	眼科	脳外科	整形外科	精神科	外科	歯科・口腔外科	耳鼻咽喉科
舞鶴赤十字病院	63	20	15		2			21		3		2
舞鶴共済病院	12	7	1		2			1			1	
舞鶴医療センター	9	4		1	1		1		2			
その他	17					1			2		14	
合　計	101	31	16	1	5	1	1	22	4	3	15	2

３）入院について

今年度の入院件数は３０件と前年度に比べ６件減少している。入院の主な病名は、やはり肺炎が多く９件、そのうち２件は誤嚥性肺炎の診断であった。次いで多かったのが腸閉塞の５件であるが、腸閉塞の既往のある入居者２名のもので再発による入院となっている。

入院された３０件のうち、２６件が軽快退院できており、２件が療養退居、２件が入院中に亡くなられた。入院中に亡くなられた入居者数は昨年度の７件から大幅に減少しており、肺炎による死亡はなかった。

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	**28年度**
入院件数	41件	45件	22件	28件	36件	**30件**
実人数	30名	36名	21名	22名	28名	**24名**
のべ入院日数（入・退院日含む）	1117日	1426日	452日	774日	1067日	**889日**
最短入院日数	1日	4日	2日	1日	4日	**3日**
最長入院日数	92日	100日	94日	98日	102日	**82日**
平均入院日数	27日	31.6日	20.5日	27.6日	30.5日	**29.6日**
救急搬送による	10件	11件	11件	16件	10件	**10件**
入院時の主な病名　1	肺炎19	肺炎19	肺炎12	肺炎8	肺炎９	**肺炎９**
入院時の主な病名　2	大腿骨骨折４	大腿骨骨折４	食欲不振2	心不全2	尿路感染４	**腸閉塞５**
入院時の主な病名　3		胆嚢炎4		腎不全2	心不全３	**一過性意識消失発作２**

＜入院の状況／病院別＞

舞鶴赤十字病院	２０件	延６７４日	内科、整形外科、外科
舞鶴医療センター	５件	延５８日	内科、泌尿器科
舞鶴共済病院	５件	延１５７日	泌尿器科、内科

＜入院の状況＞

入院系統（診療科等）	主な傷病名	入院件数	実人数	救急搬送うち	入院中死亡うち	入院日数
呼吸器系	肺炎	９	９	４	０	２２２
	気管支炎	１	１	０	０	３０
循環器・脳神経系	一過性意識消失発作	２	１	２	０	７
消化器系	腸炎	２	２	１	１	７９
	腸閉塞	５	２	２	０	２２９
	脱水症	２	２	０	０	１３４
	嚥下困難による胃瘻造設目的	２	２	０	０	５１
泌尿器系	腎盂腎炎	１	１	０	０	１７
	慢性腎不全	１	１	０	１	７
	人工血管化膿	１	１	０	０	２２
整形外科	大腿骨骨折	１	１	０	０	２５
皮膚科	蜂窩織炎	１	１	０	０	１１
その他	貧血（輸血目的）	１	１	０	０	３５
	敗血症	１	１	１	０	２０
計		３０	２６	１０	２	８８９

４）救急搬送について

搬送となった主な症状は、毎年同様、呼吸状態の悪化、意識レベルの低下によるものであったが、同一入居者が嘔吐、意識消失の同一症状での複数回搬送となった。

救急搬送１５件のうち、４件が診察の結果、入院には至らず帰設、１０件は治療や経過観察のための入院となったが、いずれも軽快退院された。心肺停止状態で蘇生をしながらの搬送が１件あり、治療の効無く病院で死亡、死亡診断は搬送先で当施設の嘱託医が行った。

入院となった１０件の診断は、肺炎で４件、次に腸閉塞３件（同一者）、一過性意識消失発作２件（同一者）となっている。

＜救急搬送１５件の状況＞

４月１４日（木）１４：００ 日赤病院	WM ９４才／女性	肛門より出血持続するため搬送。 虚血性腸炎の診断。	入院
５月２０日（金）１２：０８ 日赤病院	ＳＹ ７２才／男性	高熱があり右肺呼吸音弱く搬送。 誤嚥性肺炎の診断。	入院
６月　７日（木）１６：１５ 医療センター	MY ９３才／女性	右上下肢の脱力あり搬送。ＭＲＩ異常なく、脱水で点滴を受ける。	帰設
６月１９日（日）１９：３５ 日赤病院	MM ８１才／女性	茶色の粘稠物嘔吐あり、検査の結果腸閉塞と肺炎との診断。	入院
７月２５日（月）１８：３０ 日赤病院	ＴＴ ９４才／男性	発熱が持続。採血の結果、炎症反応高値で敗血症の診断。	入院
８月１２日（金）　８：５５ 日赤病院	ＦＫ ９０才／女性	食事中に呼吸停止。意識不明のまま搬送したが外来で死亡。嘱託医により急性心筋梗塞の診断。	死亡
８月２４日（水）１３：５８ 日赤病院	ＮＳ ８７才／女性	意識消失あり搬送。 経過観察の必要あり。	入院
１０月２４日（月）　９：３５ 日赤病院	YM ８０才／男性	SP02 が低下し呼吸状態悪化のため搬送。肺炎の診断。	入院
１１月　６日（月）１０：０３ 医療センター	ＦＨ ９３才／女性	呼吸状態が悪化し、SP02 低下。 慢性閉塞性肺疾患の悪化と肺炎の診断。	入院
１１月１３日（日）　１：４０ 共済病院	MM ８１才／女性	吐血があり搬送。内視鏡検査の結果、逆流性食道炎で内服処方。	帰設
１月　７日（土）１８：３５ 医療センター	MA ９３才／女性	発熱と喘鳴、SP02 の低下あり搬送。呼吸状態落ち着き、検査の結果異常なし。	帰設
１月　８日（日）１１：２０ 医療センター	ＮＳ ８７才／女性	血圧の低下と意識レベルの低下あり搬送。経過観察の必要あり。	入院
３月２２日（水）　０：４０ 日赤病院	MM ８１才／女性	嘔吐あり、腸閉塞の再発の疑いあり、検査目的で入院。	入院
３月２７日（月）１９：３０ 共済病院	ＫＡ ９４才／女性	高血圧と「しんどい。」との訴え強く搬送。検査の結果異常なし。	帰設
３月３０日（木）１２：４５ 医療センター	OM ７５才/男性	左顔面下垂と呂律が回らず、意識レベルの低下もあり搬送。検査の結果、肺炎の診断。	入院

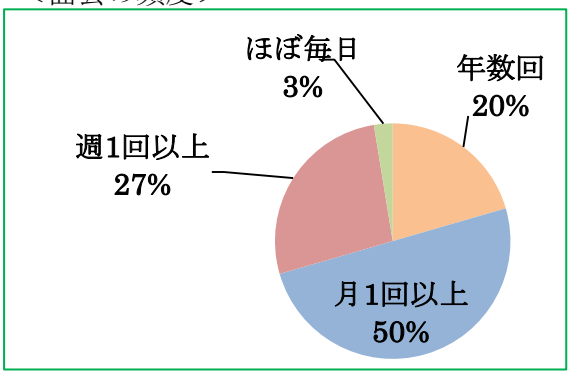
１．面会・外出・外泊のサポートについて

１）面会について

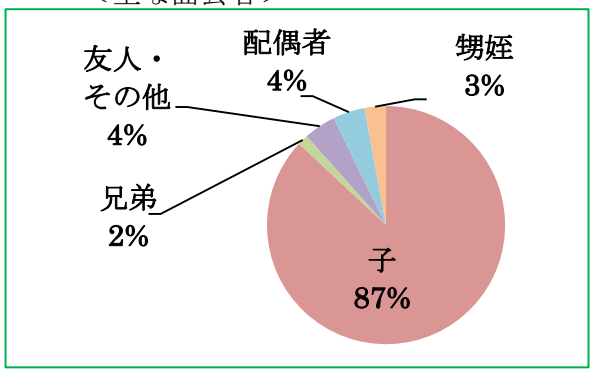
週に１回以上の面会のある方は２７％で、月に１回以上を加えると８割の入居者に面会がある。中には受診の付添が面会の形になっている方もある。

主な面会者は、やはり子供が一番多く８７％であり、入居者の高齢化に伴い、配偶者や兄弟も高齢化しており、面会は減少傾向にある。

＜面会の頻度＞



＜主な面会者＞



＜ゲストルームの利用状況＞

	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
利用回数	39回	13回	10回	23回	17回	１２回
実利用家族数	2家族	3家族	なし	1家族	５家族	２家族
合計滞在日数	55日	15日	42日	77日	２９日	２５日

ご家族の利用は、遠方にお住いの家族の面会、夏祭りをゆっくり一緒に過ごしたいとの理由で利用された。

ユニットリーダー実地研修の実習生の受け入れも４年目となっているが、実習生の人数も少なくなり、今年度は１回の利用であった。

２）外出について

外出の主な目的は、病院でのリハビリ、自宅で食事、外食、買物、ドライブ、ミサへの参加となっている。職員のサポートによって２名が買い物の外出をされている。

１年を通し、受診以外で外出されていない方が５９名ある。

ご家族の高齢化、入居者の重度化によりご家族のみでの外出はすすまないと考える。ご家族との積極的な外出支援のため、施設送迎などのサポートを伝えていく必要がある。

要介護度	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	計
月１回以上		１人	１人			２人
６ヶ月		１人	２人	１人		４人
年に１回				４人	３人	７人
人　数		３人	３人	４人	３人	１３人

３）外泊について

市外の自宅へ２泊３日された方１名がおられた。兄弟にも会われた。

要介護度	要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合　計
人　数	０人	１人	０人	０人	０人	１人
回　数	０回	１回	０回	１回	０回	１回

２．クラブ活動について

１）ぐれいす合唱団　毎週火曜日　１４：００

開設以来、合唱団ボランティア、火曜喫茶ボランティア、ご家族と共に行っている。

合唱団主催の“七夕コンサート（池内小学校４・６年生）”、“クリスマス会（池内地区放課後児童クラブ）”、“池内小学校６年生の卒業を祝う会”、を毎年開催し、児童との交流の場にもなっている。

月１回「ハーモニカと歌の会」のナツコラ会さんとコラボレーションし、活動を行った。

２）習字教室　　第３木曜日の午前中

日本習字引土支部／大槻潤作先生による、習字教室を開催。秋には舞鶴支援学校の作品展に出展し、外部の方にも成果を見ていただける機会となっている。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
21		16			15	20	17				

（開催　５回　うち４月、１１月は先生お休み）

今年度、先生がお休みのときも、定期に活動できるよう担当者を決めてすすめる。

３）ぐれいすファームくらぶ　　毎週水曜の午後

地域の方々の協力を得て活動中。入居者のメンバーも増え、今年度もそれぞれの役割を持ち、活動をすることができた。

畑で育て、収穫した野菜を使った保存食づくりはぐれいす村の皆さん、ご家族にもおいしいと好評です。「梅干しづくり」、「枝豆収穫祭」、「味噌づくり」は恒例の取組みとなっている。

３．ぐれいす村を応援してくださる方々（ボランティア活動）について

ぐれいす村は、個人から団体まで多くのボランティアに支えられている。団体・グループを離れて個人で、また別のグループに加わってと、さまざまな場面で、多様な活動により、多面的な支援をいただいている。

～　ふれあいボランティアさん　～

ふれあいボランティアグループは２班に分かれ、庭の草ひきを５月・１０月に、特養ユニットの窓拭き、雑巾やバスマットの製作、入居者の洋服のボタン付け、ズボンのゴム替えなどの繕い物を中心とした活動を４月・７月・１０月・１２月・２月の第１金曜日にお世話になっている。

～　イベント交流について　～

２８年度「はじめまして」のみなさんは、夏祭りで和太鼓を披露して頂いた「和楽」、入居者やご家族、職員を雑貨の力で元気にしたいという「ほっこり to 雑貨　nanaironoki」出張販売、田辺城の観光ガイドの経験者による「まいづるの歴史を語る会」です。

イベント名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
喫茶カラオケ　あっぷる　日曜日	3回	3回	3回	3回	3回	3回	3回	3回	2回	3回	3回	3回
和太鼓パフォーマンス　和楽					6							
民謡を楽しむ会　照日会　月1回	23	30	24	23		29	24	30		28	24	30
朗読ボランティア　こだま会　第3水曜	20	18	15	20	17	21	19		21	18	15	15
ハーモニカと歌の会　ナツコラ会　月1回	19	24	21	26	23	13	11	15	13	17	21	21
ほっこりto雑貨　nanaironoki出張販売							17	8	13	10	14	14
まいづるの歴史を語る会												29
マンドリン演奏　季楽会					24							
三味線演奏　三味弘会ゆらりクラブ									1			
年金者組合コーラス　そよ風発表会						15						
吹奏楽団ブルーマリンズ演奏会									25			
大正琴演奏会　アンサンブルほほえみ　団野教室							31					

４．季節の行事について

１）敬老会　平成２８年９月１９日（月）敬老の日

１階ホールにおいて記念式典。式典後は各ユニットにて昼食会を開催し、ご家族、スタッフも共にお祝膳を囲みゆっくり過ごしていただいた。

２８年度は、新１００歳の該当者はなし、白寿２名、米寿２名の方に舞鶴市からの記念品が届き、理事長から受け取っていただいた。

１００歳以上の７名のみなさんには花束を、入居者全員には紅白饅頭をお渡しした。

・敬老式典および昼食会参加者　１１６人
　ご家族５５人（３４家族）＋職員５０人＋役員１１人

＜敬老記念品＞

百歳以上	６名	花束
白　　寿	２名	舞鶴市から「小型空気清浄機」
米　　寿	２名	舞鶴市から「舞鶴茶と木製湯呑セット」
７０歳以上	７７名	グレイスから「紅白饅頭」（舞鶴敬老会運営補助金を充当）

２）ぐれいす村忘年会・新年会　年末～年始

入居者、ご家族、職員の交流の場として、ユニット毎に、クリスマス会や忘年会、新年会を開催。

お鍋、にぎり寿司、ちらし寿司、おでん、お好み焼き、焼きそば、ケーキなどのデザートをご家族にも調理に参加していただいた。また、昼食会後には職員サンタやトナカイからプレゼントを手渡し、ビンゴゲームやカラオケで盛り上がった。

ご家族からは、「毎年、忘年会は家族の参加も多く雰囲気もいいですね。」「久しぶりに一緒にご飯が食べられて、良かった。楽しかったです。」「母も喜んでいましたし、雪の中、来てよかったです。良い新年が迎えられました。」との感想をいただいている。

ご家族計４０名が参加

３）お正月ぐれいすサロン　１月１日元旦

毎年恒例ぐれいすの元旦は、ホールでのカラオケ新年会。
ご家族と一緒に新しい年の始まりを賑やかに迎えた。

５．地域交流について

１）　ぐれいす村夏まつり　平成２８年８月６日（土）

天候に恵まれ、屋外に椅子を多く設置し、ゆったりとお客様に過ごしていただけた。

オープニング時に、今回初めてとなる「和楽（わらく）」のみなさんに和太鼓演奏を依頼し、祭りを盛り上げていただいた。

夏祭り会計（収入の部）　(円)

舞鶴市社協(福祉施設活動啓発事業助成金)	30, 000
模擬店現金売上	117, 300
夏祭り寄付金収入	59, 000
空き缶･ダンボールリサイクル収入	2, 032
施設負担金	0
合　計	208, 332

（支出の部）

模擬店給食材料費	139, 698
模擬店容器･花火･遊びコーナー等	46, 905
模擬店機材レンタル料(かき氷)	7, 560
雑費(投光器レンタル料)	14, 169
合　計	208, 332

２）池内地区秋祭り　平成２８年１０月１６日（日）

午前は布敷自治会、午後からは堀と池ノ内下自治会の山車が到着し、力強い祭和太鼓を披露していただいた。

午前は爽やかな秋晴れとなり、たくさんの入居者、ご利用者、ご家族が参加され、和太鼓やお酒を楽しむことができた。

６．ぐれいす村と子供たちとの交流について

１）舞鶴市立池内小学校との交流

１年生８名、２年生７名のぐれいす村探検、４年生１４名、６年生１３名によるユニット訪問や合同イベントで、交流を深めた。６年生を送る会は、生徒数名がインフルエンザ罹患、今年は残念ながら不参加とした。

合同イベント／七夕コンサート、百人一首大会（初めて午後開催）、

２）　池内幼稚園との交流

歌と踊りの発表会を１階廊下で開催、敬老のお祝いに手作りのうちわをいただく。

３）　京都府立舞鶴支援学校

文化祭は、参観希望が多く、午前・午後の参観。小学部３名の生徒と異年齢交流として授業風景を参観。中学部・音楽部による音楽発表はインフルエンザまん延予防のため中止とした。

４）　舞鶴市立城南中学校

中学校を代表して生徒会より１２名の生徒がクリスマスカードのを持って訪問。

クリスマス曲、童謡を合唱し、アンコールでは校歌を披露してくれた。

交 流 内 容	開催	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
池内小1.2年生ぐれいす探検			23										
池内小4年生交流	2回／学期		31	28	7/5			31	24	1/30			14
池内小6年生交流	2回／学期		31	28	七夕コンサート			31	24	百人一首大会		3/22 祝う会	
池内小学校参観								10/10 大運動会			2/25 送る会（不参加）		
池内幼稚園お遊戯会	数回／年						16		4				
舞鶴支援学校　買物学習	数回／月			1回	1回		1回	2回		3回			
舞鶴支援学校　小学部７組		5/2 散歩		6/23 歌と手遊び				10/21 授業参観					
舞鶴支援学校参観									11/12 文化祭				
城南中生徒会クリスマス訪問										13			

１．看取りについて

今年度の入居契約終了者２２名のうちグレイスで看取らせていただいただいた方は１８名で、看取り件数は年々増加している。看取り介護契約をした１４名のすべてが老衰で亡くなっておられ、ご本人やご家族が望んでおられた最期まで苦痛なく、穏やかな生活を送っていただけたと思っている。看取りは生活の延長線上にあって決して特別ではないが、今後も「住み慣れた我が家で最期まで自分らしく生きること」を支えるケアをご家族と一緒に行っていきたい。

グレイスのケアの質をさらに向上させるため、ユニット室、医務室、生活相談室、栄養管理室、事務室で看取り委員会を立ち上げ、看取り研修会を実施した。研修会では看取りに対する不安や悩み、どんな介護がしていきたいか、ご本人・ご家族が望む暮らしの実現のために私たちがすべきことは何かなど、グループ討議を行い共有した。また、外部講師を迎え、その人らしいエンゼルメイクの仕方について学んだ。

＜入居契約終了者の看取契約の状況＞

平成28年度入居契約終了者	療養による契約終了者	死亡による契約終了者				
			入院中に死亡	グレイスで死亡	看取契約有り	看取契約無し
22名	2名	20名	2名	18名	14名	4名

＜看取り契約の状況＞

契約年度	契約者数	うち平成28年度中に亡くなられた方	平成28年度末契約者数
平成25年度	10名	1名	0名
平成26年度	11名	1名	1名
平成27年度	13名	3名	1名
平成28年度	14名	9名	5名
計	48名	14名	7名

＜医師の死亡診断の状況＞

	人数	老衰	肺炎	脳梗塞後遺症	急性心筋梗塞	多臓器不全	偽膜性大腸炎
グレイス嘱託医	１８名	１５名	１名	１名	１名		
他病院医師	２名					１名	１名
計	２０名	１５名	１名	１名	１名	１名	１名

＜死亡時の年齢＞

	人数	平均年齢	最高齢	最年少
看取り契約者	１４名	９５．４歳	１０２歳	８８歳
看取り契約無し	６名	８６．５歳	９７歳	７４歳
契約終了者全体	２０名	９２．７歳	１０２歳	７４歳

＜死亡による入居契約終了者の状況＞

	氏名	年齢	死亡日	場所	診断	入居日	入居期間	看取り契約	看取り期間	看取り／入居
1	AH すず	91	H28.4.22	グ	老衰	H17.5.22	3989	H28.4.11	12	0.3%
2	KF ひな	87	H28.4.30	グ	脳梗塞後遺症	H22.10.1	2039			
3	KYすず	93	H28.5.6	グ	老衰	H17.5.21	4004	H27.7.17	295	7%
4	SF すず	95	H28.5.9	グ	老衰	H25.1.15	1211	H28.4.27	13	1%
5	YT りん	96	H28.5.11	グ	老衰	H26.10.6	584	H28.4.25	17	3%
6	TE たん	92	H28.5.20	グ	老衰	H18.2.24	3739	H26.10.27	572	15%
7	HT わす	93	H28.7.13	グ	老衰	H28.2.16	149	H28.6.15	29	19%
8	FK ひま	90	H28.8.12	グ	急性心筋梗塞	H27.7.16	394			
9	TR すず	80	H28.8.18	日赤	多臓器不全	H27.6.11	435			
10	KA ひま	88	H28.9.16	グ	老衰	H26.2.6	954	H28.7.1	78	8%
11	TT りん	94	H28.10.8	グ	老衰	H28.6.17	114	H28.8.18	52	46%
12	AY ひな	101	H28.10.12	グ	老衰	H25.12.12	1036	H25.12.28	1020	98%
13	OK すみ	74	H28.11.1	共済	慢性腎不全	H24.7.17	1569			
14	KT わす	91	H28.11.18	グ	老衰	H27.4.8	591			
15	NT あじ	96	H28.11.27	グ	老衰	H24.2.6	1757	H28.11.21	7	0.3%
16	SH たん	97	H29.1. 5	グ	肺炎	H28.6.21	199			
17	TM すみ	102	H29.1.11	グ	老衰	H26.10.29	806	H28.12.2	41	5%
18	MS すず	101	H29.1.18	グ	老衰	H20.9.2	3061	H29.1.11	8	0.2%
19	YY わす	95	H29.1.27	グ	老衰	H18.1.16	4030	H28.3.4	330	8%
20	KS れん	99	H29.2. 4	グ	老衰	H26.8.20	900	H27.10.25	469	52%

参考　ユニット別

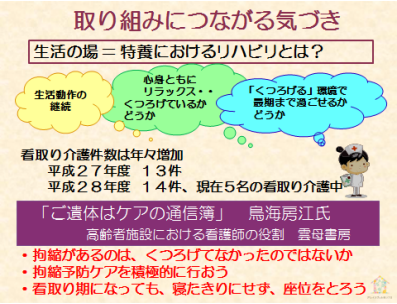
契約終了者（死亡）	人数	わすれなぐさ	なでしこ	あじさい	すずらん	りんどう	ひなげし	れんげ	たんぽぽ	すみれ	ひまわり
看取り契約者	１４	2		1	4	2	1	1	1	1	1
看取り契約無し	6	1			1		1		1	1	1
全体	２０	3		1	5	2	2	1	2	2	2

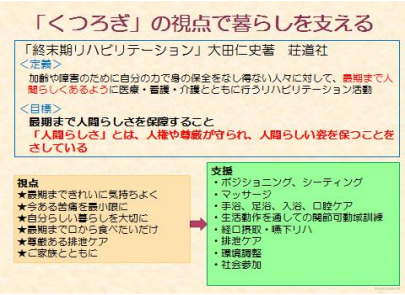
２．終末期リハビリテーションについて

大田仁史氏は終末期リハビリテーションの著書の中で「終末期リハビリテーションとは、加齢や障害のために自分の力で身の保全をなし得ない人々に対して、最期まで人間らしくあるように医療・看護・介護とともに行うリハビリテーション活動で、その目的は最期まで人間らしさを保障すること。人間らしさとは人権や尊厳が守られ、人間らしい姿を保つことをさしている。」と書かれている。

看取りをさせていただいた後、私たちはその方のお体をきれいにし、お気に入りの着物に着替えるお手伝いをさせていただきますが、四肢の拘縮のため、体がまっすぐに伸びない方もいらっしゃり、そんな時は日々の生活で十分にリラックスできていなかったのではないだろうかと反省させられる。少しでも筋肉の緊張が和らぎ、くつろいでいただけるようリハビリ指導を受けるため、中丹東リハビリテーション支援センターに相談した。その結果、グレイスに理学療法士を招き、ポジショニングについて勉強会を開催、入居者を直接訪問しポジショニングの方法について個別に指導を受けた。

このことをきっかけに、ポジショニングだけでなく、くつろぎの視点を持って色々なケアに前向きに取り組んでいこうとポジティブ委員会が発足し、ユニット・医務室職員を中心に活動を開始した。
ポジティブ委員会の取り組みとグレイスの終末期ケアについて、昨年度に続き、中丹地区リハビリテーション実践交流会で、医務室の傳法佑香が、ポジティブ委員会を代表して「くつろぎの視点から暮らしを支える～ポジティブ委員会の取り組み」と題して発表した。





事業の運営管理について

１．災害対策について

１）原子力災害への備え

原子力発電所の重大事故に起因する原子力災害が発生した場合の避難先が京都府から示された。同じ理念で施設運営を行い、職員も交流がある施設とのマッチングを希望する観点から、避難先の再調整を京都府に依頼している。

２）防災計画の作成

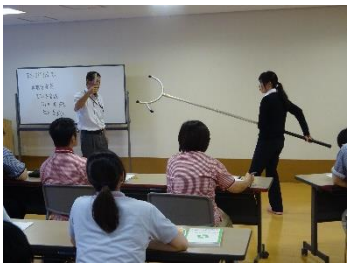
厚生労働省の「介護保険施設等における非常災害対策計画の策定」を受けて、特別養護老人ホームグレイスヴィルまいづるの「防災計画～自然災害編～（素案）～」を策定。２月に、自然災害への対応研修と起震車による地震体験を行った。

３）防災・防犯に係る訓練・研修

防犯講習会

日　時	平成 28 年 9 月 29 日（木）14：30～15：30	運営
研修名	「防犯訓練」	
講　師	舞鶴警察署池内駐在所巡査	
受講者	施設長、室長、マネジャー、チーフ、ユニットリーダー	

暴漢による社会福祉施設での殺傷事件を受けて、池内駐在所の巡査部長さんを講師に、不審者への対応の仕方を学習。座学と、サスマタを用いた暴漢等への対処方法の実技を学習した。



防災訓練・自然災害対応訓練

日　時	平成 29 年 2 月 23 日（木）13：30～14：30	運営
研修名	「消防設備・機器の取扱い」「自然災害～地震対応～」	
講　師	舞鶴西消防署	
受講者	施設長、室長、ユニットリーダー、職員	

舞鶴西消防署職員による講話をうけ、火災発生時の考え方のポイントを習得。模擬消火器による消火訓練を行った。

又、自然災害の地震を想定した訓練として、起震車により地震の揺れを体験した。

防災訓練

日　時	平成 29 年 3 月 27 日（月）14：00～15：00	運営
研修名	「夜間を想定した防災訓練」	
講　師	舞鶴西消防署	
受講者	施設長、室長、ユニットリーダー、職員	

夜間の少人数体制での火災や災害への対応の為に、夜間を想定した避難訓練を実施。舞鶴西消防署の消防隊員から講話を受けた。

２．アクシデントについて

	合計	特養	ｼｮｰﾄ	デイ	(過誤)計	受診	保険者報告
転倒	12	9		3		3	1
座り込み	58	40	12	6		4	
転落	6	6(2)			(2)	3	1
ずり落ち	7	6	1				
皮膚トラブル	28	27 (3)	1		(3)	2	
誤嚥	1	1					
服薬介助ミス	6	4(4)	2(2)		(6)		
バルンカテーテル抜去	1	1					
件数計	119	94(9)	16(2)	9	(11)	12	
実人数計	63 名	46 名	11 名	7 名	11 名	9 名	2 名

＜アクシデントの状況＞

事故のあった場所・・・居室：73 件　リビング：20 件とユニット内での発生が全体の 78%を占める。

特定の入居者に複数回発生・・・座り込んでいる・横になっておられるところを発見。
５回：１名　４回：２名　３回：１名　２回：１０名

昨年度と比較して総件数、実人数共に 1.4 倍と増加している。転倒、転落件数は半減したが、内出血などの皮膚トラブル、座り込んでいるところを発見するヒヤリハットの件数が増加した。

内出血や痣を入浴時に発見するケースが多く、入居者の肌は弱いうえ、脇や腕は移乗介助、体位変換時に触れることが多く、慎重に介助をしているがより一層の注意が必要である。

＜過誤の状況＞

	件数	内訳	内　容	特養	ｼｮｰﾄ	デイ
転落	2	1	車椅子からの転落	1		
		1	移乗介助時、その場を離れる	1		
皮膚トラブル	2	1	介助中に傷つける	1		
		2	爪切りの際に皮膚まで切る	2		
服薬介助ミス	6	5	服薬介助を忘れる	3	2	
		1	下剤を 2 度服薬する	1		
合　計	11	11		9	2	0

３．苦情対応と改善について

＜苦情・相談と改善状況＞

２８年１０月 特養入居の長女	昨年１２月にも伝えていたが、やはりある職員の出勤の日は、母の様子がおかしい。娘の私も好意的には見ることができない。母には緊張なく、ストレスが無いように過ごしてほしいので、私ができることは、その人から離すことだと考えている。	施設長をはじめ職員カンファレンスを行い、現状を確認する。 改めて長女同席の面談を行い、職員に関しては、再度姿勢や言葉使い等の教育を続けていくが、職員の異動は考えていない。どうしてもということであれば、ユニットを変わっていただく提案をする。それに伴い考えられるメリットデメリットをお伝えしたうえで、ユニット移動を希望された。 １０日後、自分の感情だけで結論を出してしまったが、職員には十分にしてもらっている。母本人にとっても一からの関係性を作る必要があることを考えるとこの提案は取り消したいと申し出がある。
２９年３月 ショート利用者の長女	ショートとデイを利用しているが、何度言っても伝えていることが伝わっておらず、情報の共有ができていない。物のような扱いをされていると思う。本人は、ショートを利用後は、必ずめそめそしている。とても気を使う人なので、それをくんでもらい、ストレスを感じさせないショートの利用をさせてほしい。	前日からのショート利用で、朝方に２回の嘔吐があり、感染症の心配もあり、長女に受診の依頼をした。帰設後今まで感じていたことを言わしてもらいますと左記を訴えられた。 具体的にどのようなことかを確認し、その都度、対処してきたことについても再度説明する。 ご本人の利用中の様子とご家族から聞かせていただく内容とに相違がありすぎて、どのように支援していけばよいのかと悩んでいることも伝え、わだかまりのないように関係性を作りたいと伝える。

４．会議、ミーティングの開催状況

<会議・ミーティングの開催状況>　　（日付）

会議・委員会	開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
マネジャー会議	第3金曜	22	20	24	15	22	20・23	21	18	22	20	17	21・24
リーダーミーティング	第4木曜	27	26	30	25	25	29	27	24	29	26	23	30
在宅ミーティング	第4火曜					8					6		
生活相談室ミーティング	第2火曜	12			8	12	9	14	9	9	13	10	10
医務室ミーティング	第2水曜	13	11	8	13	10	14	12	9	14	13	8	
事務室ミーティング	第4金曜	19			1・29	26		3・28	25	30	27	24	31
衛生委員会	第3木曜	21	19	16	21		13	19	17	22	19	16	16
給食委員会	第1火曜	6	10	7	12	2	13	4	8	6	10	7	14
感染症対策委員会	第2水曜			8				12		14			
事故防止委員会	第3金曜	22	20	24	15	22	20・23	21	18	22	20	17	21・24
入居判定委員会	第3金曜	22	20	24	15	22	20・23	21	18	22	20	17	21・24

ユニットミーティング	開催日	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
わすれなぐさ	第4金曜	8	8	1	6	3	7	5		7	11	1	
なでしこ	第2月曜		19	14	3	6						6	6
あじさい	第4金曜	8	13	8	8	11	8	6		9	17	10	10
すずらん	第1水曜	11		11			11	16			18	12	13
れんげ	第1木曜	8	15	3		5	15				7		
たんぽぽ	第1月曜	10	9		10	4		8	20		7	8	9
りんどう	第1木曜	8		11	13						11		
ひなげし	第1水曜	3	4	1	6	3	7	5	17	20	17		
すみれ	第1火曜	11・26	2	9	10	8	5	12	3	6		9	
ひまわり	第1月曜	4	9	6	4	1		6	7			28	
デイサービス	第1金曜	1	6	3	1	4	2	7	4	2	6	3	3

５．関係機関との会議・調整の状況

＜ユニットリーダー実地研修施設の業務＞

一般社団法人日本ユニットケア推進センター、近畿ブロックユニットケア連絡会

淡路　由紀子	平成 28 年 04 月 13 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 28 年 04 月 26 日	実地研修施設　現地調査　調査員研修会	東京都
	平成 28 年 05 月 06 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 28 年 05 月 27 日	ユニットケア研修フォローアップ研修検討委員会1	東京都
	平成 28 年 05 月 30 日	2016 年度　第 4 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 06 月 18 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 28 年 06 月 25 日	近畿ブロック　ユニットケアの話し聞いてもらえませんか	京都市
	平成 28 年 07 月 18 日	ユニットリーダー研修実地研修施設　現地調査	東京都
	平成 28 年 07 月 27 日	2016 年度　第 19 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 08 月 09 日	ユニットリーダー研修実地研修施設　現地調査	岡山県
	平成 28 年 08 月 15 日	ユニットリーダー研修実地研修施設　現地調査	広島県
	平成 28 年 08 月 18 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 28 年 10 月 12 日	平成 28 年度　ユニットケア関係者連絡会	東京都
	平成 28 年 10 月 20 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 28 年 11 月 14 日	近畿ブロック　第 7 回ユニットケア・コンビニフォーラム	大阪市
	平成 28 年 11 月 29 日	コンビニ研修　ユニットケアって何だろう？	舞鶴市
	平成 28 年 12 月 13 日	2016 年度　第 41 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 29 年 02 月 22 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 29 年 02 月 24 日	ユニットケア研修フォローアップ研修検討委員会2	東京都
	平成 29 年 03 月 06 日	ユニットリーダー研修実地研修施設更新調査説明会	横浜市
	平成 29 年 03 月 07 日	ユニットケア研修フォーラム2017	横浜市
福井　芳	平成 28 年 05 月 30 日	2016 年度　第 4 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 06 月 25 日	近畿ブロック　ユニットケアの話し聞いてもらえませんか	京都市
	平成 28 年 07 月 27 日	2016 年度　第 19 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 10 月 12 日	平成 28 年度　ユニットケア関係者連絡会	東京都
	平成 28 年 11 月 29 日	コンビニ研修　ユニットケアって何だろう？	舞鶴市
	平成 28 年 12 月 13 日	2016 年度　第 41 回ユニットリーダー研修座学	京都市
仲井　なるみ	平成 28 年 11 月 29 日	コンビニ研修　ユニットケアって何だろう？	舞鶴市
	平成 28 年 11 月 14 日	近畿ブロック　第 7 回ユニットケア・コンビニフォーラム	大阪市
南　陽子	平成 28 年 11 月 29 日	コンビニ研修　ユニットケアって何だろう？	舞鶴市
河田　香織	平成 28 年 11 月 29 日	コンビニ研修　ユニットケアって何だろう？	舞鶴市
桐本　直樹	平成 28 年 05 月 30 日	2016 年度　第 4 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 07 月 23 日	近畿ブロック　ユニットケアの話し聞いてもらえませんか	奈良県
	平成 28 年 07 月 27 日	2016 年度　第 19 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 11 月 14 日	近畿ブロック　第 7 回ユニットケア・コンビニフォーラム	大阪市
	平成 28 年 11 月 29 日	コンビニ研修　ユニットケアって何だろう？	舞鶴市
	平成 28 年 12 月 13 日	2016 年度　第 41 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 29 年 01 月 06 日	コンビニフォーラム反省会および新年互礼会	長岡京市
松本　さち子	平成 28 年 05 月 30 日	2016 年度　第 4 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 05 月 31 日	2016 年度　第 4 回ユニットリーダー研修座学（講師）	京都市
	平成 28 年 06 月 25 日	近畿ブロック　ユニットケアの話し聞いてもらえませんか	京都市
	平成 28 年 07 月 27 日	2016 年度　第 19 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 07 月 28 日	2016 年度　第 19 回ユニットリーダー研修座学 （コーディネーター）	京都市
	平成 28 年 08 月 03 日	近畿ブロック　第 1 回全体会議	長岡京市
	平成 28 年 09 月 03 日	近畿ブロック　第 1 回研修ワーキンググループ オブザーバー	京都市
	平成 29 年 01 月 23 日	2016 年度　第 46 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 29 年 01 月 24 日	2016 年度　第 46 回ユニットリーダー研修座学（講師）	京都市
	平成 29 年 01 月 28 日	近畿ブロック　第 2 回研修ワーキンググループ オブザーバー	四條畷市

	平成 29 年 02 月 03 日	近畿ブロック　ユニットリーダー研修指導者勉強会	吹田市
仲間　重貴	平成 28 年 04 月 13 日	近畿ブロック　研修ワーキンググループ会議	長岡京市
	平成 28 年 04 月 13 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 28 年 05 月 06 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 28 年 06 月 18 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	長岡京市
	平成 28 年 06 月 25 日	近畿ブロック　ユニットケアの話し聞いてもらえませんか	京都市
	平成 28 年 07 月 05 日	2016 年度　第 15 回ユニットリーダー研修座学（講師）	大阪市
	平成 28 年 07 月 16 日	近畿ブロック　ユニットケアの話し聞いてもらえませんか	和歌山市
	平成 28 年 07 月 20 日	2016 年度　第 17 回ユニットリーダー研修座学（講師）	名古屋市
	平成 28 年 08 月 03 日	近畿ブロック　第 1 回全体会議	長岡京市
	平成 28 年 09 月 03 日	近畿ブロック 第 1 回研修ワーキンググループ オブザーバー	京都市
	平成 28 年 11 月 14 日	近畿ブロック　第 7 回ユニットケア・コンビニフォーラム	大阪市
	平成 28 年 12 月 13 日	2016 年度　第 41 回ユニットリーダー研修座学	京都市
	平成 28 年 12 月 14 日	2016 年度　第 41 回ユニットリーダー研修座学 （コーディネーター）	京都市
	平成 29 年 01 月 06 日	コンビニフォーラム反省会および新年互礼会	長岡京市
	平成 29 年 01 月 23 日	近畿ブロック　ユニットケア連絡会　会議	京都市
	平成 29 年 01 月 28 日	近畿ブロック　第 2 回研修ワーキンググループ オブザーバー	四條畷市
田中　紀夫	平成 28 年 07 月 16 日	近畿ブロック　ユニットケアの話し聞いてもらえませんか	和歌山市
	平成 28 年 07 月 23 日	近畿ブロック　ユニットケアの話し聞いてもらえませんか	奈良県
	平成 28 年 11 月 14 日	近畿ブロック　第 7 回ユニットケア・コンビニフォーラム	大阪市
尾上　正紀	平成 28 年 11 月 29 日	コンビニ研修　ユニットケアって何だろう？	舞鶴市
	平成 29 年 03 月 06 日	ユニットリーダー研修実地研修施設更新調査説明会	横浜市
	平成 29 年 03 月 07 日	ユニットケア研修フォーラム2017	横浜市

＜管理者／施設長＞

京都府老人福祉施設協議会 （京都市）	平成 28 年度第 1 回総会	平成 28 年 05 月 17 日
	中丹東ブロック第 1 回施設長会	平成 29 年 02 月 03 日
舞鶴市入所判定委員会	3 回	09 月,12 月,03 月
舞鶴市内特養 7 施設長会	8 回	06,11,01,03 月除く 8 回
舞鶴高齢者・障害者施設介護サービス安全衛生協議会総会		平成 28 年 04 月 26 日
舞鶴社会福祉施設連絡協議会総会		平成 28 年 04 月 26 日
社会福祉法人制度改革の施行等に向けた連絡会議（舞鶴市）		平成 28 年 08 月 29 日
京都府少子化対策府民会議設立総会（京都市）		平成 28 年 11 月 22 日
社会福祉法人制度改革の施行に向けた説明会（宮津市）		平成 28 年 12 月 14 日

＜看護師＞

京都府看護協会　高齢者施設・ケア施設等看護管理者研修・交流会	平成 28 年 11 月 25 日

＜管理栄養士＞

近畿地区栄養士会理事・運営委員会議	平成 28 年 06 月 19 日
京都府栄養士会福祉部会	平成 28 年 11 月 06 日
舞鶴特養ホーム連絡会　栄養士部会	06 月、11 月
舞鶴赤十字病院「NST 地域連携懇話会」	11 月、02 月

＜生活相談員＞

介護支援専門員および主任介護支援専門員研修説明会	平成 28 年 04 月 06 日
地域支援事業に係る介護保険サービス事業所説明会	平成 28 年 04 月 26 日
舞鶴市介護相談員訪問事業合同意見交換会	平成 28 年 05 月 17 日
舞鶴市介護予防・日常生活総合事業説明会	平成 28 年 12 月 16 日
城南、城北地域包括支援センター　城南・城北ケア塾	10 月

＜行政説明会＞

看護師

原子力防災	原子力安全研究協会／京都府原子力災害時医療講習会	平成 29 年 01 月 16 日
原子力防災	京都府／ 生命を守るための要配慮者利用施設管理者向け説明会	平成 29 年 02 月 13 日

管理栄養士

原子力防災	京都府／ 生命を守るための要配慮者利用施設管理者向け説明会	平成 29 年 02 月 13 日

生活相談員

介護保険	京都府／介護保険サービス事業者等集団指導	平成 28 年 05 月 13 日
原子力防災	京都府／ 生命を守るための要配慮者利用施設管理者向け説明会	平成 29 年 02 月 13 日

事務員

介護保険	京都府／介護保険サービス事業者等集団指導	平成 28 年 05 月 13 日
労務管理	京都労働局／ 改正育児・介護休業法・男女雇用機会均等法等説明会	平成 28 年 10 月 21 日
人材育成	京都府／福祉職場リクルーティング研究会	平成 29 年 01 月 26 日

安全運転管理者

道交法	京都府公安委員会／安全運転管理者講習	平成 28 年 09 月 12 日

＜その他の説明会＞

事務員

労務管理	京都府社会福祉協議会／ 介護人材再就職準備金貸付事業等説明会	平成 28 年 08 月 10 日

＜職員派遣協力＞

看護師	京都府グラウンド・ゴルフ協会主催 「中丹グラウンド・ゴルフレディス大会」　救護員	平成 28 年 09 月 15 日
管理栄養士	公益社団法人京都栄養士会主催 「第 18 下京・みなみ健康まつり」（京都市）	平成 28 年 10 月 29 日
看護師	中丹東地域リハビリテーション支援センター主催 2016 地域リハひといき庵 in 中丹 ＜地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ実践交流会＞（綾部市）	平成 29 年 03 月 10 日

５．施設設備管理の状況

業 者	内 容	点検日等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
昭和リーブス	防鼠・防虫点検	1回／月	14	25	27	25	24	20	24	22	19	23	22	27
	厨房食堂消毒	4回／年			10			21			6			27
	全館消毒	2回／年						20						27
	レジオネラ菌水質対策検査	1回／年		25										
	貯水槽清掃	1回／年				19								
河村電気	電気設備保守点検	1回／月	1	2	1	2	2	1	2	3	2	3	1	2
	消防設備総合点検	1回／年	24											
	消防用設備外観,機能点検	1回／年							18					
三菱ビルテクノ	エレベーター点検	4回／年			15			6			2			7
	エレベーター法定点検	1回／年									2			
クリエイテックス	オイル焚き温水器定期点検	4回／年			16			28		29				17
	ろ過機定期点検	2回／年						28						7
セライフ（丹和）	空調機保守点検	2回／年				11				17				
	空調室内機フィルタ等清掃	1回／年		5／23～7／11										
	換気扇清掃	1回／年			24									
姫路ナブコ	自動扉開閉装置	2回／年					18							23
	排煙窓装置	1回／年		31										
京都微生物研究所	簡易専用水道定期検査	1回／年						16						
京都保健衛生協会	浄化槽法定検査	1回／年					2							
ゆう建築設計	建築設備法定検査報告	1回／年									13			
職員	エアコンフィルター清掃	2回／年											2～3月 合計259台	

6．事業用車両について

28 年度中、車両事故なし

＜軽油車両の状況＞

事業	車　　両			整備	H28 走行距離	累計 走行距離
特養	日産キャラバン ストレッチャー ※	京都 800 せ 6089	2.48ℓ	H28.3.22	km 4,635	km 5,201
		★関電車輌 H28.3.30～舞鶴市の無償貸与				
デイ	日産キャラバン 車いすリフト ※	京都 800 す 2353	2.95ℓ	H17.3.22	9,696	186,591
デイ	日産キャラバン 車いすリフト	京都 800 す 2633	2.95ℓ	H17.5.24	13,012	181,117
ショート	日産キャラバン 車いすリフト ※	京都 800 す 2352	2.95ℓ	H17.3.22	10,865	256,686
※平成 28 年度車検、点検					38,208	629,595

＜燃料費＞

	使用料	金　額	平均ℓ単価
軽油	4,969.51ℓ	534,699 円	約 107 円

＜ガソリン車両の状況＞

事業	車　　両			整備	H28 走行距離	累計 走行距離
特養	スズキワゴンR	京都 580 つ 3624	0.65ℓ	H20.6.30	14,945	105,378
デイ	トヨタラクティス 車いす対応	京都 800 す 5755	1.29ℓ	H19.3.16	10,676	133,044
デイ	ダイハツタント※	京都 580 む 8717	0.65ℓ	H24.2.17	12,462	66,265
※11 月、12 月リコール対応					38,083	304,687

＜燃料費＞

	使用料	金　額	平均ℓ単価
ガソリン	2,921.69ℓ	372,674 円	約 127 円

労務管理と人材育成について

１．職員の状況について

１）正職員の採用について

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
新卒者	高校卒	0名	3名	3名	3名	５名	１名	３名	６名	０名	１名	２名
	短大・専門学校卒	0名	0名	1名	1名	０名	１名	１名	０名	０名	１名	２名
	大学卒	0名	1名	0名	1名	０名	３名	０名	０名	０名	１名	０名
中途者	準職員から	1名	2名	6名	8名	３名	１名	３名	４名	４名	４名	１名
	一般から	1名	０名	1名	0名	０名	0名	0名	２名	３名	０名	０名

○新卒者　　介護職員　４名

府立西舞鶴高校	２名	無資格
華頂短期大学	１名	介護福祉士
花園大学	１名	介護福祉士

○新規採用者　　介護職員　１名

準職員から登用	１名	ＨＨ２級

２）正職員の退職について

＜退職者＞

介護職員　11 名

看護職員　　１名

＜退職者の採用時期＞

１７年度採用者	１名 １名	２９年　３月 ２８年　５月
２０年度採用者(年度準職員採用)	１名	２９年　２月
２１年度採用者(20 年度準職員採用)	１名	２８年　７月
２２年度新卒採用者	１名（高卒)	２８年１２月
２４年度新卒採用者	１名（高卒)	２８年　９月
２５年度新卒採用者 ２５年度採用者(21 年度準職員採用) ２５年度採用者(22 年度準職員採用)	１名（高卒) １名 １名	２８年　７月 ２８年　７月 ２８年　８月
２６年度採用者(看護職員) ２６年度採用者(25 年度準職員採用)	１名 １名	２９年　１月 ２８年　５月
２７年度採用者(基礎研修修了者)	１名	２８年１２月

３）正職員以外の職員の採用と退職の状況

	採用	退職	その他
介護職員	５名	２名	採用のうち１名は定年退職後継続雇用
生活相談員	１名	０名	定年退職後継続雇用
環境美化	１名	０名	新卒採用
管理宿直	１名	０名	
事務員	２名	０名	

４）職員の定着率

年度	期初在籍職員数			退職者数			離職率%			定着率%		
	正	準	計	正	準	計	正職員	準職員	全職員	正職員	準職員	全職員
17	58	1	59	4	0	4	6.9	0.0	6.8	93.1	100.0	93.2
18	67	35	102	13	10	23	19.4	28.6	22.5	80.6	71.4	77.5
19	56	47	103	4	3	7	7.1	6.4	6.8	92.9	93.6	93.2
20	62	50	112	4	17	21	6.5	34.0	18.8	93.5	66.0	81.3
21	70	44	114	11	6	17	15.7	13.6	14.9	84.3	86.4	85.1
22	64	54	118	5	14	19	7.8	25.9	16.1	92.2	74.1	83.9
23	67	49	116	7	9	16	10.4	18.4	13.8	89.6	81.6	86.2
24	67	40	107	4	1	5	6.0	2.5	4.7	94.0	97.5	95.3
25	75	40	115	6	12	18	8.0	30.0	15.7	92.0	70.0	84.3
26	74	32	106	10	6	16	13.5	18.7	15.0	86.5	81.3	85.0
27	71	38	109	11	10	21	15.4	26.3	19.2	84.6	73.7	80.8
28	68	30	98	12	2	14	17.6	6.6	14.2	82.4	93.4	85.8

離職率＝退職者数／期初在籍職員数*100

定着率＝100％－離職率

５）人材確保のための取り組み

＜合同就職面接会等への出展等の状況＞

平成 28 年 05 月 20 日	京都府主催　きょうと福祉就活サポートプログラム事業所説明会（福知山市）
平成 28 年 06 月 08 日	京都府主催　第 1 回デイタイム求人就職説明会
平成 28 年 06 月 20 日	京都府主催　きょうと福祉就活サポートプログラム インターンシップ受入準備研修（福知山市）
平成 28 年 06 月 20 日	京都府主催　きょうと福祉就活サポートプログラム 採用につなげる発信力研修（福知山市）
平成 28 年 06 月 29 日	京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会主催 京都府北部 7 市町合同就職面接会（大阪市）
平成 28 年 07 月 04 日	舞鶴市主催　就職懇親会
平成 28 年 08 月 09 日	ふるさとコール MAIZURU 実行委員会主催 夏の就職フェア「ふるさとコール MAIZURU」
平成 28 年 10 月 05 日	京都府北部福祉人材確保事業事務局主催　未経験者向け就職説明会
平成 28 年 10 月 13 日	舞鶴市主催　ワーク・ライフ・バランスはなんのため？～企業へのメリット～
平成 28 年 10 月 14 日	京都経営者協会主催 第 59 回北部部会「働く女性に聞く！女性が活きる職場のつくり方」
平成 28 年 10 月 23 日	京都府看護協会 セカンドキャリア研修・交流会（京都市） ～生涯現役！きらめくナース～
平成 28 年 11 月 05 日	舞鶴市主催　舞鶴市・高浜町合同就職フェア
平成 28 年 11 月 08 日	京都府福祉人材サポートセンター主催 福祉就活サポートプログラム合同事業所説明会（京都市）
平成 28 年 11 月 14 日	京都府北部福祉人材確保事業事務局主催　合同就職説明会
平成 29 年 01 月 17 日	ふるさとコール MAIZURU 実行委員会主催 企業採用担当者のための「採用力アップセミナー」
平成 29 年 01 月 19 日	ハローワーク福知山・舞鶴・峰山主催 京都北部「就職先発見！就職面接会」（福知山市）
平成 29 年 01 月 23 日	舞鶴市主催　シニア人材による経営支援マッチング事業説明会
平成 29 年 02 月 24 日	舞鶴市主催　春のまいづる就職フェア
平成 29 年 03 月 02 日	京都北都信用金庫主催　シニア人材による経営支援マッチング会

６）資格取得支援

平成 28 年度から介護福祉士の国家試験受験資格に、実務者経験 3 年に加え「実務者研修」の修了が必須となることから、平成 29 年 1 月の国家試験に間に合うように、社会福祉法人／京都基督教福祉会・京都保育福祉専門学院に委託し、当施設において、現認職員の介護福祉士資格取得支援として、平成 28 年 1 月から 5 月までを前期研修、6 月～12 月までを後期研修として、市内の特養の職員も募集をかけ実務者研修を行った。

また、平成 28 年 9 月から平成 29 年 1 月まで実務者研修終了後に介護福祉士受験対策講座を実施した。

受講生には、受講後に舞鶴市介護福祉士資格取得講習等受講料助成金が利用できるとの案内を行った。

実　務　者　研　修　　受講生 24 名
（医療的ケアのみ 3 名を含む）
介護福祉士受験対策講座　　受講生 6 名
講師：　岡本正弘学院長

２．職員の健康管理について

１）衛生委員会の活動について

衛生委員会では、労働災害の未然防止、職場の労働環境の整備、労働者の健康管理及び健康障害の防止等について取り組んでいる。

衛生委員会　開催日時・内容	
平成 28 年 4 月 21 日(木)	・平成２８年度事業計画について ・衛生委員について ・計画年休について
平成 28 年 5 月 19 日(木)	・衛生委員および労働者代表の選任について ・計画年休について ・介護支援取組助成金について
平成 28 年 6 月 16 日(木)	・計画年休取得について
平成 28 年 7 月 21 日(木)	・ストレスチェックについて ・健康講座について
平成 28 年 9 月 13 日(火)	・ストレスチェック実施に向けて
平成 28 年 10 月 19 日(水)	・インフルエンザ予防接種について ・夜勤者検診・腰痛健診について ・京（きょう）から取り組む健康事業所宣言について ・健康講座実施に向けて
平成 28 年 11 月 17 日(木)	・インフルエンザ予防接種について ・産業医・衛生委員会について ・健康講座・リフトの研修等の開催について
平成 28 年 12 月 22 日(木)	・ストレスチェック・夜勤者検診の結果について ・メンタルヘルス対策について ・衛生委員会の仕事について
平成 29 年 1 月 19 日(木)	・じゃんけん大会について ・災害対策について
平成 29 年 2 月 16 日(木)	・じゃんけん大会について
平成 29 年 3 月 16 日(木)	・じゃんけん大会について ・来年度の取組みについて

～　改善活動実施状況について　～

平成２５年６月より改善活動を実施し、４年目となる。職場環境や業務の改善を行った者、または、他の職員が行った改善に気づいた者は、内容を改善活動報告用紙に記入のうえ事務室に提出すれば報告用紙１枚につき、改善活動費として 100 円を報酬額としてその場で手渡すというもの。

◎２８年度提出枚数　：　改善活動／９枚（前年４０枚）

～　毎日がバレンタインデー活動実施状況について　～

『毎日がバレンタイン活動』については昨年から実施し２年目となる。ハート型の紙に相手の良いところを文章にして書き記して（無記名）貼り出すというもの。１枚につき、グレイスオリジナルボールペン、クリアファイルのいずれか１点を賞品とする。

◎２８年度提出枚数　：　毎日がバレンタイン活動／１７枚（前年５０枚）

～　じゃんけん大会について　～

全職員が気軽に参加でき、普段あまり話すことのない職員同士が話すことによって親睦が深まることを目的として『じゃんけん大会』を企画。

４ブロックのトーナメント方式。あみだくじで対戦相手を決め、お互いの都合のつく時間に、見守り人立会いのもとじゃんけんをおこない、進めていく。約１ヶ月間で各ブロックの優勝者を選出し、４人で決勝戦を行う。

〇各ブロック優勝者　：　森下　宥喜　/　大同　真里奈　/　岩田　浩巳　/　傳法　宏文

◎決勝戦　：　平成２９年２月２８日（火）　１４時～
　　１階コミュニティーホールにて
優 勝 者　：　岩田　浩巳　（3,000 円分ＱＵＯカード、2,000 円分のお菓子）
準優勝者　：　森下　宥喜　（2,000 円分ＱＵＯカード、1,000 円分のお菓子）
３　　位　：　大同　真里奈（1,000 円分のお菓子）
４　　位　：　傳法　宏文　（1,000 円分のお菓子）
※経費：10,000 円　支出科目：事務費/福利厚生費/職員レク

今回はじめて企画・実施したが、気軽に全職員が参加でき、また、普段めぐり合わせのない職員同士がこの企画を通じて初めて話すことができたことが良かった。決勝戦ではたくさんの入居者の方にも参加いただき、４人の熱い戦いを楽しく見守っていただいた。

純粋に楽しめた企画で、次年度も衛生委員会の活動として開催したい。

２）インフルエンザ罹患状況

インフルエンザについては、昨年より早い１１月中旬頃から流行し始め、まず入居者が罹患。その後、２月頃まで職員・入居者が罹患した。

＜インフルエンザの罹患状況＞

年度	特養入居者	職員	職員と同居家族
平成２０年度	１名	データなし	データなし
平成２１年度	０名	６名	１９名
平成２２年度	０名	８名	６名
平成２３年度	６名	６名	７名
平成２４年度	０名	３名	８名
平成２５年度	２名	２名	９名
平成２６年度	１０名	１０名	１４名
平成２７年度	０名	４名	１２名
平成２８年度	６名	６名	９名

なお、感染性胃腸炎は、２７年度は入居者・職員の一部が罹患したが、２８年度は罹患者なし。

環境美化職員を中心に、流行時期だけではなく、毎朝ホールの家具類、廊下、ユニット内の手すり、トイレ等消毒をおこなった成果であろう。

３）ストレスチェックを実施

労働安全衛生法の一部を改正する法律により、『ストレスチェックと面接指導法の実施等』の制度が創設。事業者は　全ての従業員に対して年１回ストレスチェック検査を実施することが義務づけらた。

▸目　　的　：　①労働者のメンタルヘルス不調の未然防止
②労働者自身のストレスへの気づきを促す
③ストレスの原因となる職場環境の改善につなげる

▸検査実施月　：　平成２８年１０月～１１月

▸対 象 職 員　：　７３名（所定労働時間の 3/4 未満の短時間労働者は義務の対象外）

▸検 査 機 関　：　京都微生物研究所

▸検 査 結 果　：　５１名が回答（７０％）　グループごとの分析結果のみ

▸検 査 費 用　：　６３，０７２円（@８６４×７３名）

※支出科目：事務費/福利厚生費/健診

４）健康講座・教室を実施

ジャレオさんのストレッチ体操教室

①　４月　８日　　②　５月１０日　　③　６月１７日
④　７月　５日　　⑤　８月１１日　　⑥　９月３０日
⑦１０月２７日　　⑧１２月１５日　　計８回
講師：砂連尾　理さん（高槻市）／ダンサー・振付師

健康講座「適正体重になるための食事の秘訣」
１２月　２日（金） 講　師：同仁会クリニック管理栄養士　荒木紗代氏
受講者：職員１１名　実習生１名
協会けんぽの出前講座を利用し、外部の方に講師を依頼。 無理な食事制限ではなく、身体に必要なものをしっかり摂取し、適正な体重を目指す食事管理の秘訣を講義していただく。

３．労働安全衛生について

１）安全衛生京都労働局長奨励賞　受賞

労働安全衛生活動の成果と実績が顕著であり、かつ地域の中で、安全衛生に関する水準が良好で改善のための取組が他の模範であると認められたため、京都労働安全衛生大会において表彰していただきました。

２）京都ゼロ災３か月運動　達成

京都労働局による 7～9 月の労働災害ゼロ運動に平成 25 年度から参加し、４年連続達成

３）「京（きょう）から取り組む健康事業所」宣言

健康経営の考え方に基づき、従業員の健康増進を図るため、下記の項目に取組むことを宣言しました。

○法令に従い、検診を 100%受診する
○健診結果が再検査・要治療だった社員には、医療機関の受診を促す
○協会けんぽの血管年齢測定機等のレンタルを利用
○ストレスチェック制度を実施

４）京都健康づくり実践企業認証の更新（３回目）

京都府では、がん検診や健康づくり活動に取り組む企業を応援するため企業認証制度を創設。　グレイスにおいては、健康診断の実施はもちろんのこと、衛生委員会を中心に健康づくりに関する様々な取組を実施していることから、職員の健康を守り、働く世代の健康づくりをさらに推進していくためにも平成２５年に申請を行い、実践企業の認証を取得。
２８年度も、認証取得の基準を上回り、衛生委員会を中心に職員の健康づくり活動を継続していることから更新申請を行い、認証を取得。

内部研修実施状況

日　時	平成 28 年 4 月 8 日（金）17：00～19：00	認知症ケア・キャリア形成
研修名	「初心者から達人へ　～風姿花伝を読み解く～」	
講　師	大谷大学非常勤講師　西川　勝先生	
受講者	26 名受講	

風姿花伝は、世阿弥が記した能の理論書。能の修行法・心得・美学など世阿弥自身が会得した芸道の視点からの解釈を加えた著述。この解説を受けながら、自身のキャリア形成について考える。その前段として、ベナーの看護論を用い、キャリアの課程（初心者➡新人➡一人前➡中堅➡達人）と、キャリアパス（理論値➡実践知➡暗黙知）、中堅、達人へのステップは、階段ではなく飛躍であり、直観的に全体を把握し問題解決する能力が必要であること等を学んだ上で、風姿花伝の解説を受ける。

新人研修カリキュラム　次ページ

日　時	平成 28 年 4 月 1 日～15 日　10 日間 （4 月 11 日～6 月 6 日　初任者研修）	新規採用職員研修
研修名	新規採用職員研修（28 科目）	
講　師	外部講師　6 名　　内部講師 10 名	
受講者	新卒者 5 名	

4 月 1 日から 15 日までの 10 日間は、グレイスの新規採用職員研修プログラムにそって実施。は、初任者研修のプログラムを新人研修に組み込み、全 12 回実施。

日　時	平成 28 年 4 月 28 日（火）15:00～（1H） 7 月 25 日・8 月 25 日　14：30～15：30（1H） 3 月 30 日(木)15：00～16：00（1H）　4 回	ユニットケア
研修名	ユニットケア研修	
講　師	各部署マネジャー・ユニットリーダー	
受講者	各部署マネジャー、ユニットリーダー	

ユニットケアについて学ぶために、まずは「介護サービス向上ハンドブック」をもとに、その内容を各自が学び、ユニットリーダーが分担して事例を交えて講義する形で研修を開催。

平成２８年度　新規採用職員研修カリキュラム

日付曜日			内容	担当
４月１日	金		辞令交付式・書類提出	河田
		1.5H	施設見学	福井
		1.5H	法人理念・事業計画	施設長
		1.25H	課題発表	室長・マネジャー
４日	月	3.5H	グレイスの暮らし・グレイス便利帳	桐本
		3.0H	社会人としての働き方のルールと就業規則	沼田・河原先生
５日	火	1.0H	施設の掃除	南・福井
		1.0H	キャリアパス	施設長
		1.5H	レクリエーション	吉田・福井
		1.0H	暮らしに寄り添うケア	仲間
		1.0H	ぐれいす合唱団	
６日	水	8.0H	ユニット入居者体験	
７日	木	1.0H	健康運動サークル	松岡由美子氏
		1.5H	食事	南
		1.5H	おむつについて	鈴木弘美氏
		1.5H	グレイスの排泄ケア	芝田・吉田
		3.0H	ユニット入居者体験	
８日	金	2.5H	してはいけない介護	福井
		1.25H	ストレッチ体操	砂連尾理氏 西川勝先生
		1.5H	ダンスＷＳ	
		1.5H	認知症ケア	
10 日	日	1.5H	シーツ交換	吉田
		2.0H	リフト操作	仲間・桐本
		4.0H	入浴体験	佐藤奈・吉田
11 日	月	6.0H	初任者研修　職務の理解	岡本先生
		1.5H	初任者研修　介護における尊厳の維持・自立支援	岡本先生
13 日	水	3.0H	バイタルサイン	仲井
		1.0H	記録・ブルーオーシャン	桐本
		3.0H	ユニットケアマニュアル	福井
14 日	木		健康診断	
		1.25H	不燃ごみ	南
18 日	月	3.0H	初任者研修　介護の基本	岡本先生
		3.0H	初任者研修　認知症の理解	桐本
		1.5H	初任者研修　介護・福祉サービスの理解と医療の連携	福井
21 日	木	3.0H	初任者研修　老化の理解	仲井
		3.0H	初任者研修　介護におけるコミュニケーション技術	岡本先生
		1.5H	初任者研修　障害の理解	岡本先生
25 日	月	7.5H	初任者研修　こころとからだのしくみと生活支援技術 1.　生活と家事　2.快適な居住環境整備と介護	芝田
28 日	木	7.5H	3.　整容	芝田
５月９日	月	7.5H	4.　移動・移乗	芝田
16 日	月	7.5H	5.　食事	吉田・南
19 日	月	7.5H	6.　入浴・清潔保持	佐藤奈
23 日	月	7.5H	7.　排泄	吉田
30 日	月	7.5H	1.　睡眠	足立
			11.　終末期介護	仲井
６月２日	木	7.5H	2.　介護過程の基礎的理解 3.　総合生活支援技術演習	岡本先生
６日	月	3.0H	12.　総合生活支援技術演習	岡本先生
		4.0H	振り返り	

日　時	平成 28 年 6 月 10 日（金）19:00～20：00	経営・運営
研修名	「グレイスヴィルまいづるの予算と決算について」	
講　師	株式会社ひろせ福祉会計アシスト　代表取締役　木下和昭氏	
受講者	施設長、室長、マネジャー、チーフ、事務室スタッフ	

グレイスまいづるの２７年度決算額と２８年度予算額について、お金の流れ（収入と支出）について丁寧に教えていただく。収支差額を出すためには、収入を増やすか支出を減らすの２つである。マンパワーやスケールメリットを活かし、節約や増収に取り組む必要があることを実感した。

日　時	平成 28 年 6 月 16 日（木）14:00～、16:30～（1H）2 回	感染症予防
研修名	感染症予防研修会「食中毒予防について」	
講　師	（株）LEOC　衛生管理部　小倉氏	
受講者	看護、介護、栄養、相談、事務職員対象　67 名受講	

食中毒予防について、厨房委託会社の㈱LEOC の衛生管理部より、梅雨～夏場に注意しなければならないポイントについて学んだ。食中毒予防の６つのポイントの再確認も行った。ユニットキッチンの衛生チェックの結果についても共有し、今日から実践することを挙げた。

日　時	平成 28 年 6 月 22 日（水）18:00～（1H）	法令遵守
研修名	法令遵守研修会	
講　師	メディカルテン　代表　宮坂佳紀氏	
受講者	マネジャー・ユニットリーダー　中心　２５名受講	

・マイナンバー法と個人情報保護法
・改正社会福祉法
・電子介護記録使用時の留意事項
について講義。遵守と順守の違い、規則と規定の違いなど、言葉の持つ意味を細かく学ぶ。

日　時	平成 28 年 7 月 21 日(木)14：00～、16:30～（１H）2 回	終末期ケア
研修名	看取り介護研修会	
講　師	看取り委員会　（進行・医務室　仲井なるみ室長）	
受講者	看護、介護、栄養、相談、事務職員対象　５９名	

看取り委員会の取り組みとして、看取り介護マニュアルの見直しを挙げている。職員に事前アンケートとして、看取り介護についての経験、不安、自分ならどんな最期を迎えたいかについてききとり、委員会メンバーが結果について報告し全員で共有した。

日　時	平成 28 年 8 月 23 日（火）14:00～、16:30～（1H） 25 日（木）14:00～、16:30～（1H） 29 日（月）14:00～、16:30～（1H）6 回	医療的ケア
研修名	医療的ケア勉強会	
講　師	医務室長　仲井なるみ　看介協働委員会	
受講者	５４名受講	

介護職が行ってもよい医療的ケアについて、初級・中級・上級編と経験年数に分けて実施。
吸引、胃ろうからの経管栄養の留意点と実技演習を行う。

日　時	平成 28 年 10 月 26 日（木）15:00～、16:30～（1H） 平成 28 年 10 月 28 日（木）15:00～、16:30～（1H）4 回	感染症予防
研修名	感染症予防研修会「インフルエンザ、ノロウイルス」	
講　師	感染対策委員会　医務室　仲井室長　足立チーフ	
受講者	看護、介護、栄養、相談、事務職員対象　５６名受講	

感染予防の三原則。何度も繰り返し感染予防の基礎を学び、実習を重ねることで感染症を予防する。目にみえないウイルスに対してどのようにして感染を防ぐか、また、嘔吐物の処理についても実習する。

日　時	平成 28 年 11 月 11 日 15：00～、16:30～（１H）2 回	終末期ケア
研修名	看取り介護研修会	
講　師	看取り委員会　（進行・医務室　仲井なるみ室長）	
受講者	看護、介護、栄養、相談、事務職員対象　４６名	

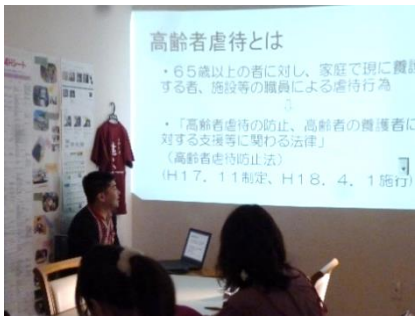
「元気なうちから本人の希望を聞き、実現するためには何をすればよいか」をテーマにグループワークを行った。研修に先立ち職員に看取り介護を行う上での意見をアンケート形式で集約し、そのデータをもとにしたグループワークとした。看取り委員会のメンバーが司会進行を担い、全員で考える研修となった。

日　時	平成 29 年 1 月 27 日　14：00～　、16：30～（1H）２回	環境衛生
研修名	家事と洗剤研修	
講　師	㈱花王　　坂元さん	
受講者	27 名受講	

グレイスで現在使用している洗剤について、改めて正しい使用方法について教えていただいた。薄めて使う洗剤は、適切な量で希釈するのが、一番効果が高いことを再確認した。無駄な洗剤の使用をやめ、経費の削減につなげる。

日　時	平成 28 年 12 月 15 日　15：00～、16：30～ 12 月 16 日　15：00～、16：30～　４回	身体拘束・虐待防止
研修名	高齢者虐待と身体拘束	
講　師	生活相談室　田中紀夫チーフ	
受講者	５６名受講	

近年、実際に起こった虐待の事例を通して学ぶ。また、虐待の定義、身体拘束とは、を再確認した。合わせて、アンガーマネジメント（怒りとうまくつきあうこと）について「イライラとうまく付き合う介護職になる」田辺有里子:中央法規出版　から普段の自分自身をみつめなおし、介護業務に携わる私達のストレスについても考えた。



日　時	平成 29 年 3 月 8 日　14：00　～15：30	終末期ケア
研修名	看取り介護研修　エンゼルケアについて	
講　師	㈱セレマ高槻開発室　吉川室長　林川主任　看取り委員会・医務室	
受講者	１８名受講	

エンゼルケア（体をきれいにし、お気に入りの着物に着替え、メイクはその人らしく、自然に）について、事前にアンケートを行い、どんなことでも知りたい、学びたいことを挙げ、講師に伝達。Q&A で教えて頂いたり、実際のエンゼルメイクを目の前で実技により学んだ。また、グリーフケアも大切であることを学んだ。

２．内部研修「Off - ＪＴ」について

身体コミュニケーション「ダンスワークショップ」

「ダンスワークショップ」　８回
講　師：　砂連尾　理氏／ダンサー・振付家
　　西川　勝先生／臨床哲学者・看護師
テーマ：４月「岡田さんと声を出さずに話をする」
　　５月「目に入るものをなぞってダンス」
　　６月「足跡ダンス」ダンスをしているかのように、
　　脱いだ靴を動かしてみる
　　７月「言葉を相手の体にもみこんでいく」
　　８月「不快だと思う空間をつくる」
　　９月「アイヌのダンスを皆で踊り、
　　このダンスの表現していることを話し合う」
　　10 月「わたしはここにいます」を誰かに伝える
　　１月「千鳥サブレを５分かけて味わうと世界はどう変わるか」

お互いの距離と身体が触れ合う感覚を感じながら、訥々（とつとつ）と、身体表現による対話を重ねることで、非言語コミュニケーションについて、参加した人自らが体験し考えるワークショップ。ケアの現場での身体、ケアにかかわる人のコミュニケーション等について経験と学びを深めるために実施。

異文化に触れる　「文化人類学カフェ」

８回
講　師　：豊平　豪さん／文化人類学研究者
テーマ　：
　　５月「ふるさと」
　　６月「出産」
　　７月「痛み」
　　８月「死者」に対するイメージ、接し方
　　９月「ゾンビ」
　　10 月「ふるさと」
　　11 月「高齢化」
　　12 月「家」
　　２月「本」

文化人類学の研究者が司会・進行。職員以外に一般の方も自由に参加できる。
毎回、参加者から提案されたさまざまなテーマで、参加者が自由に思い考えを語る。
職員は、異文化について学びながら、物の見方、考え方の違い等を学び、参加者である異業種、多世代の人との交流より、社会人としての見識等々を広げている。

３．外部研修の受講状況について

＜平成２８年度　外部研修受講状況（市外開催分）＞

月	NO	研修内容	主催者	場所	人数	日数	のべ
4 月	1	ユニットケア指導者勉強会	日本ﾕﾆｯﾄｹｱ推進ｾﾝﾀｰ	東京都	3	1	3
5 月	2	近畿ブロック　ユニットリーダー研修指導者勉強会	近畿ﾌﾞﾛｯｸﾕﾆｯﾄｹｱ連絡会	吹田市	2	1	2
6 月	3	喀痰吸引等京都府指導者養成研修 修了者フォローアップ研修	京都府看護協会	与謝野町	2	1	2
	4	キャリアアップ研修（初任者）全 3 回	京都府社会福祉協議会	福知山市	3	3	9
	5	排泄ケアから考える「活動と参加」の支援	ﾘﾌﾞﾄﾞｳｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ	大阪市	6	1	6
7 月	6	民間社会福祉施設長研修会	京都府	京都市	1	1	1
	7	近畿ブロック福祉施設栄養士研修会	日本栄養士会近畿ﾌﾞﾛｯｸ	大阪府	1	1	1
8 月	8	第 73 回京都府社会福祉法人経営者セミナー	京都府社会福祉法人経営者協議会	京都市	1	1	1
	9	嚥下障害看護研修全 2 回	京都府看護協会	福知山市	1	2	2
	10	ﾌｧｰｽﾄｽﾃｯﾌﾟ（ﾕﾆｯﾄｹｱﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ）研修会全 3 回	日本栄養士会近畿ﾌﾞﾛｯｸ	大阪府	1	3	3
	11	京都府認知症介護実践者等養成研修全 7 回	京都府	京都市	1	7	7
	12	介護・福祉施設・在宅等領域の看取り研修会	京都府看護協会	与謝野町	3	1	3
9 月	13	喀痰吸引等（不特定多数の者対象）1 号 2 号研修全 10 回	福知山民間社会福祉施設連絡協議会	福知山市	2	10	20
	14	企業内人権啓発推進員研修会・京都府企業内人権問題啓発セミナー	京都労働局	京都市	1	1	1
	15	第三者評価を上手に活用するセミナー	きょうと福祉ﾈｯﾄﾜｰｸ一期一会	京都市	1	1	1
	16	キャリアアップ研修（管理者）	京都府社会福祉協議会	京都市	1	2	2
	17	のばそう健康寿命！みんなでロコモ予防	京都府	綾部市	1	1	1
10 月	18	在宅・介護施設における看護師に求められるアセスメント力	京都府看護協会	京都市	3	1	3
	19	社会福祉専門ｾﾐﾅｰⅠ ｱﾝﾊﾞﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ基礎編	京都府社会福祉協議会	京都市	1	1	1
	20	施設看取り公開講座	京都府老人福祉施設協議会	南丹市	5	1	5
	21	看護診断のアセスメント力をつける ～臨床診断力をみがく看護過程～	京都府看護協会	京都市	2	1	2
	22	地域包括ケア時代 ～地域で求められるこれからの看護～	京都府看護協会	京都市	1	1	1
	23	高齢者介護施設における介護事故予防と感染対策の実際	京都府看護協会	京都市	2	1	2
11 月	24	高齢者のフットケア ～爪変形はなぜ起こる、どう防ぐ、どう治す～	京都府看護協会	京都市	1	1	1
	25	第 2 回食に携わる職員のためのﾕﾆｯﾄｹｱ研修	日本ﾕﾆｯﾄｹｱ推進ｾﾝﾀｰ	東京都	1	3	3
	26	施設経営学セミナー ～動き出した第 7 期介護報酬改定について～	石坪	福知山市	3	1	3
	27	福祉職員キャリアパス対応生涯研修過程 上級管理職員研修会	全国社会福祉協議会 中央福祉学院	神奈川県	1	3	3
	28	社会福祉法改正と外部監査・充実残額 ～政省令の検討と監査対応について～	日本公認会計士協会京滋会	福知山市	1	1	1
12 月	29	認知症看護総合研修全 2 回	京都府看護協会	京都市	1	2	2
	30	ｽﾁｺﾝ活用とｸｯｸﾁﾙで朝の早出を解消しませんか	ホシザキ京阪	京丹後市	1	1	1
1 月	31	乙訓ブロック栄養士勉強会	乙訓ブロック栄養士会	長岡京市	2	1	2
	32	福祉職場研修担当リーダー研修	京都府社会福祉協議会	京都市	2	1	2
2 月	33	第 47 回ユニットリーダー研修座学	日本ﾕﾆｯﾄｹｱ推進ｾﾝﾀｰ	大阪市	1	3	3
	34	看取りサポートの人材養成研修 修了者フォローアップ研修	京都府看護協会	京都市	1	1	1
	35	第 47 回ユニットリーダー研修実地研修	日本ﾕﾆｯﾄｹｱ推進ｾﾝﾀｰ	大阪府	1	6	6
3 月	36	ユニットケア研修フォーラム 2017	日本ﾕﾆｯﾄｹｱ推進ｾﾝﾀｰ	神奈川県	5	1	5
	37	スキルアップ研修会	福祉部会総会	京都市	1	1	1
－	38	－	－	－	67		113

受講者実人員	計	準職員	スタッフ	サブチーフ	チーフ	マネジャー	室長以上
介護職員	１８	0	7	8	2	1	－
看護職員	5	0	3	－	1	－	1
管理栄養士	2	－	1	－	－	1	－
事務・相談員	7	1	1	－	2	1	2
計	３２	1	１３	8	5	3	3

＜平成２８年度　外部研修受講状況（舞鶴市内開催分）＞

月	NO	研修内容	主催者	人数	日数	のべ
5 月	1	ビジネスマナー研修	京都北都信用金庫	2	1	2
	2	普通救命講習Ⅰ	舞鶴市消防本部	2	1	2
6 月	3	介護予防事業従事者向け研修会	舞鶴市	2	1	2
	4	応急手当普通救命救急講習会	舞鶴市消防本部	2	1	2
9 月	5	健康保険･年金委員合同研修会全２回	京都府社会福祉協議会	2	2	4
	6	感染症予防対策研修会	京都府中丹東保健所	1	1	1
10 月	7	結核研修会	京都府中丹東保健所	2	1	2
11 月	8	中丹(東)地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ従事者研修会	中丹東地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ支援ｾﾝﾀｰ	2	1	2
	9	職員調理研修「簡単に作れて食べやすいスイーツ作り講座と茶話会」	舞鶴社会福祉施設連絡協議会	5	1	5
	10	コンビニ研修　ユニットケアって何だろう？	日本ﾕﾆｯﾄｹｱ推進ｾﾝﾀｰ	11	1	11
12 月	11	経営マネジメントセミナー	北近畿中小企業支援連絡会議	3	1	3
	12	ケアマネジャー等研修会	舞鶴市	1	1	1
	13	産業医･衛生管理者等合同研修会	舞鶴産業保健連絡協議会	1	1	1
2 月	14	社会福祉施設における転倒災害防止と腰痛予防等に係る研修会	舞鶴労働基準監督署	4	1	4
	14			40		42

受講者実人員	計	準職員	スタッフ	サブチーフ	チーフ	マネジャー	室長以上
介護職員	１８	0	8	8	1	1	－
看護職員	3	0	1	－	1	－	1
管理栄養士	1	－	1	－	－	0	－
事務・相談員	7	1	1	－	2	1	2
計	２９	1	１１	8	4	2	3

４．外部研修への講師派遣、実践発表の状況

＜出講＞

施設長 淡路　由紀子	10 月 06 日	福祉即戦力人材養成科初任者研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局
	12 月 16 日	根洗学園のワークショップ「高齢者施設の中の哲学・ダンス・文化人類学」	社会福祉法人ひかりの園
	03 月 01 日	「高齢社会における公立文化施設の取り組みに関する調査研究」専門家座談会	一般財団法人地域創造 株式会社ニッセイ基礎研究所 芸術プロジェクト室
医務室長 仲井　なるみ	06 月 11 日	喀痰吸引等京都府指導者養成研修	公益社団法人京都府看護協会
	10 月 18 日	福祉即戦力人材養成科初任者研修	
	11 月 10 日	福祉即戦力人材養成科初任者研修	
	11 月 25 日	高齢者施設・ケア施設等看護管理者研修・交流会	公益社団法人京都府看護協会
	01 月 10 日	福祉即戦力人材養成科地域研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局
	01 月 12 日	福祉即戦力人材養成科地域研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局
生活相談室長 福井　芳	12 月 21 日	福祉即戦力人材養成科地域研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局
特養マネジャー 吉田　千草	01 月 27 日	福祉即戦力人材養成科地域研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局

生活相談室チーフ 桐本　直樹	01 月 17 日	福祉即戦力人材養成科地域研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局
特養チーフ 田中　紀夫	12 月 20 日	福祉即戦力人材養成科地域研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局
特養サブチーフ 佐藤　奈津美	01 月 25 日	福祉即戦力人材養成科地域研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局
特養サブチーフ 倉内　実津枝	01 月 24 日	福祉即戦力人材養成科地域研修	京都府北部福祉人材確保事業事務局

＜実践発表＞

医務室スタッフ 傳法　佑香	03 月 10 日	中丹東地域リハビリテーション支援センター主催 2016 地域リハひといき庵 in 中丹＜地域ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ実践交流会＞（綾部市） **●「くつろぎ」の視点から暮らしを支える～ポジティブ委員会の取り組み～**

５．実習生・研修生等の受け入れについて

～ユニットリーダー研修の実地研修生の受入れ　～

一般社団法人／日本ユニットケア推進センターが都道府県の委託を受けて実施するユニットリーダー研修の実地研修施設として、全国から２３名の研修生のユニット実習を実施した。

また、ユニットリーダー研修指導者として、現在、1 名がユニットリーダー研修の座学に出講している。

前期		後期	
6 月 13 日～ 6 月 17 日	5 名	1 月 9 日～1 月 13 日	5 名
6 月 20 日～ 6 月 24 日	5 名		
8 月 1 日～ 8 月 5 日	5 名		
8 月 22 日～ 8 月 26 日	3 名		
	18 名		5 名

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	合計
実習生	120 名	100 名	60 名	23 名	303 名

～その他の研修生の受け入れ～

講師として職員を派遣した京都府北部人材確保事業／福祉即戦力人材養成科実習の実習生 2 名の受入れを実施。

11 月 18、21、24、25、28、29 日	２名
12 月 2 日、5～9 日	２名

＜施設見学の受入れ＞

株式会社　リヴドゥコーポレーション	平成２８年８月２６日（金） リフレサポーター２名
社会福祉法人　天神会 特別養護老人ホーム　天神荘	平成２８年１０月２４日（月） 施設長・生活相談員・介護職等６名
社会福祉法人　みつみ福祉会 特別養護老人ホーム　三愛荘	平成２９年１月１９日（木） 施設ケアマネ・機能訓練指導員等５名

地域貢献事業について

１．健康♪運動♪サークル　毎週木曜日 10:30～11:30

２３年４月から体調改善運動インストラクターの松岡由美子さんに講師を依頼し、開催している。

２８年度から、トイレや空調等の水道光熱費を含む参加費として１回３００円を受領。入居者のご家族など池内地域以外からの参加者もあったが、冬季に大雪警報等もあり、前年に比べ参加者が年間で約３００名少なかった。

開催４４回 参加者のべ８４０名（１回あたり　平均１９名）

２．池内小学校区地域放課後児童クラブ（舞鶴市放課後児童健全育成事業）

２２年度から池内地域放課後児童クラブの開設場所として、１階ホールにある地域交流スペースの一部を池内子育て支援協議会に開放。

２８年度以後の使用については、池内子育て支援協議会の依頼を受け、京都府、舞鶴市と協議。平成２８年３月２４日付けで近畿厚生局の承認を得る。

３．高齢者涼やかスポット設置事業（京都府補助事業）

高齢者等の電力弱者が節電で冷房を抑制して熱中症になることを防ぐため、冷房設備のある施設を開放したり、その施設でイベントを開催したりする京都府の「高齢者涼やかスポット」を２４年度から実施し、５年目となる。７～９月末まで施設を開放した。

法人運営について

１．理事会・評議会の開催について

平成 28 年 5 月 18 日(水)	監　事　監　査	平成 27 年度の決算書類及び事業内容について	
平成 28 年 5 月 25 日(水)	第 46 回評議員会	第1号議案	平成 27 年度事業報告及び決算報告について
	第 52 回理事会	第1号議案	平成 27 年度事業報告及び決算報告について
平成 28 年 12 月 6 日(金)	監　事　監　査	平成 28 年度上半期(4～9 月)の経理及び事業の実施状況について	
平成 28 年 12 月 14 日(水)	第 47 回評議員会	第 2 号議案	平成 28 年度上半期決算及び監事監査実施報告について
		第 3 号議案	給与規程の一部改正(案)について
		第 4 号議案	育児休業及び育児短時間勤務に関する規程の一部改正(案)について
		第 5 号議案	介護休業及び介護短時間勤務に関する規程の一部改正(案)について
	第 53 回理事会	第 2 号議案	平成 28 年度上半期決算及び内部監査実施報告について
		第 3 号議案	給与規程の一部改正(案)について
		第 4 号議案	育児休業及び育児短時間勤務に関する規程の一部改正(案)について
		第 5 号議案	介護休業及び介護短時間勤務に関する規程の一部改正(案)について
平成 29 年 1 月 22 日(日)	第 48 回評議員会	第 6 号議案	社会福祉法の改正に伴う定款の変更について
		第 7 号議案	評議員選任･解任委員会の設置について
	第 54 回理事会	第 6 号議案	社会福祉法の改正に伴う定款の変更について
		第 7 号議案	評議員選任･解任委員会の設置について
		第 8 号議案	新評議員の推薦について
平成 29 年 2 月 20 日(月)	第 1 回評議員選任解任委員会	第1号議案	平成 29 年度社会福祉法改定に伴う新評議員の選任について
平成 29 年 3 月 28 日(火)	第 55 回理事会	第 9 号議案	次期評議員の選任について
	第 49 回評議員会	第 8 号議案	理事の補充(選任)について
		第 9 号議案	平成 28 年度第1次補正予算(案)について
		第 10 号議案	平成 29 年度事業計画(案)及び予算(案)について
		第 11 号議案	経理規程の改正について
	第 56 回理事会	第 10 号議案	平成 28 年度第1次補正予算(案)について
		第 11 号議案	平成 29 年度事業計画(案)及び予算(案)について
		第 12 号議案	経理規程の改正について

２．寄附金について

寄附金総額　　１，３７６，０６０　円

寄附目的	役員・ 嘱託医	利用者家族・ 利用者	ボランティア・ 他	計
法人運営	2 名 (80,000 円)	9 名 (517,000 円)	2 名．1 団体 (99,060 円)	13 名．1 団体 (696,060 円)
施設運営		3 名 (540,000 円)		3 名 (540,000 円)
夏 祭 り	7 名 (29,000 円)		4 名 (30,000 円)	11 名 (59,000 円)
敬 老 会	6 名 (26,000 円)	8 名 (38,000 円)		14 名 (64,000 円)
正　　月	1 名 (10,000 円)		2 名 (7,000 円)	3 名 (17,000 円)
計	16 名 (145,000 円)	20 名 (1,095,000 円)	8 名.1 団体 (136,060 円)	44 名.1 団体 (1,376,060 円)

寄付金による事業

応接家具整備事業

寄付者のご意志により、応接４点セットを購入し、ホールに設置しました。

金額　508,000 円

グレイスヴィルまいづる

特別養護老人ホーム　グレイスヴィルまいづる
〒624-0806　舞鶴市字布敷小字中島５２－１
TEL　０７７３－７５－７１２１